とは軽はづみな事を

東州民大会では拓務省家賞徹のた機構問題に隣し過級解鑑された関

を上京せるむる事さなつたが二十一京後の運航資料職販の意味で代数しめいよく \ 旅大廠市より代表委員 | 三日大場磐粉房長の陸連を機に上

た場局長端任 大場警務局長(○甲)は二十三日扶桑丸

かは頗る注目され

七時二十分大連港外着の鎌定

二十四月午

蛇角

泣き配に縁◆

めてゐる、から

此の調査完了

水無調査な急がし

帆のはるびん鬼で約二週間の鎌定股落さなつたので來る二十六日出

日米對抗競技大會

人場警務局長ど會見

(日曜月)

午後二時より大連運動場に於て絢爛スポーツの秋を飾つて華々しく學行された

あるも秋空爽 上野部にふさはしい絶対のスポー 日米陸 ツ日和、スタンド上には点新しい朝来、殿や、 かに陽光美しく照り映え、日米陸 ツ日和、スタンド上には点新しい

は点新しい一

大連運動場一帯を國際色に塗り

ンポツセル、日本天近の各選手館

承る八百米の米國カニ

ツ緑桃の遺憾なき破職っけるも時の運、期待する

日米野抗競技始まる。勝つも敗

歌いた

た明脈なれ。

がさなつて現れる。 別さなつて現れる。

捧持する西選手

光頭に紺のユニ

た米域が一

日

日本陸上競技史に豪華の一頁を綴る滿洲體育協會主催の日米對抗競技大會は二十三日

秋晴れ

大連運動場

の真質な登場すべき好機の緊張せよ、驚起せよ。不

するや爽快に奏ら

急

て場内はたどもう品質の渦巻であて場内はたどもう品質がもてあま

古乗れては、

いけない。

**\$** 

昂奮からてあま り北へさ流れ

むごけれざられ

0

3

東

た空氣 のある 事は

( 取める様に云つて居 について飽まで努

同務

電話にいっ」 するなといる事で主」て、常方では研究し盡してゐる | 感受する が直接 其旨が酬いられなかった風情を言葉の間にしらりに洩らす、かくて恐者感との食見を了した局が酬いられなかった風情を言葉の間にしらりに洩らす、かくて恐者感との食見を了した局が酬いられなかった風情を言葉の間にしらりに洩らす、かくて恐者感との食見を了した局が酬いられなかった風情を言葉の間にしらりに洩らす、かくて恐者感との食見を了した局が酬いられなかった風情を言葉の間にしらりに洩らす、かくて恐者感との食見を了した局とはそのま、懸惑に一腰の寒気な密熱が悪ふ、潜水鬱疹、本田高等、大和田保安、小坂衛生を駆起、膨井遮住局起等で、この日大連集成一腰の寒気な密熱が悪ふ、潜水鬱疹、本田高等、大和田保安、小坂衛生を駆起、膨井遮住局起等で、この日大連集成一般の寒気な密熱が悪ふ、潜水鬱疹、本田高等、大和田保安、小坂衛生を駆起、膨井遮住局起等で、この日大連集成一般の寒気な密が震か、潜水鬱疹、大和田保安、小坂衛生を駆起、膨井遮住局起等で、この日大連、大和田保安を派起でおけるころあった、上屋とは、現地五千の臀に大切に、おけて、常方では研究しなで、なったが、一十三日入港快入水の大路にあるといる事で、一方では研究しまして、高い、大和田保安を派は、かくている。

東京特配二十三日襲」在消機制。 ・歌華に関し現地の事情調査のため ・歌華に関し現地の事情調査のため ・歌華に関し現地の事情調査のため ・歌華に関し現地の事情調査のため ・歌和二十三日東京安大連、旅順に ・歌音に脱し現地の事情調査のため ・歌れ二十三日東京安大連、旅順に ・歌音・ない ・ささなつた。 ・ささなつた。 ・ささなつた。 ・ささなつた。 ・ない。 ・でいた。 ・でいたいた。 ・でいた。 ・

拓務省八田警務課長赴滿

た様な結末を見た

速に大きな喰遠ひがある、主意外的見地から起つたものでその不安によつて動いたのでなく同

が直接其旨

政府に従来臨時議

でない。これであるかであるか

臨時閣議院

閣僚間に解談的

原頭 し二十二日の

風害牧恤財源

三日人港扶桑丸にて着連三日人港扶桑丸にて着連三日人港扶桑丸にて着連

三日人養挟桑丸こて養重●

會待機姿勢を執

政府さしては臨時

澤田駐伯大使

近く滿洲視察

り一題とて臨時議

財源開係につき詳細説明を聴取協いよる懸念的野策を講するため特に

▲徳川武定子爵(海軍大佐)同上 託會社專務)同上 記會社專務)同上

員利氏(東京外國語學校教

水害、九州、

方の不況等し

括した政策を協

ル大使澤田部蔵氏は二十五日親伝

大後渡浦、浦州各地な観察十一月

廿六日東上

た以てするも

事が出來の場合

は質然臨時議会を

あるさの見解に

入江滿電事務は電氣合同問題も一

入江滿電專務

金を以てして 政策性施に要する

(刊日)

界 木 鈴 人行養 治代喜本橋 人輔編 盛・武 村 本 人副印 地番一卅町園公東市連大 社報日洲蒲 社會式株所行養

旅順署長の歌樂で一同出

方針に騙して協議 方針に騙して協議 をなると

目されついあるが、大連器では二脚に跳する盆帯観察器の動向は出

大連·奉天·新遠 東ベ日東洋精の光明を発生を

田高等青木繁物の麻課長な帯同園東際等格局長大場艦大郎氏は 旅順本廳到着

め混線を響よりの代表等繁殖、牧一代四平街、長山駿山の麻薯長はじ 三日午前十時階級したが帰東郷で開発には織内各課長初め制法の場合及の地位官代表、株苗

定まで

**現地反機構主張當然** 

無なる報告をなし、同四十分官舎 巻き會見し上京中の在滿樓橋間題 次定に至るまでの經過について時 では、一次では、同四十分官舎 現地の聲を尊重 飛線各署代表そ

一 一 は大会代議士学田正記氏は二十三 日入港技楽丸で静連したが最近の 中央の空氣に就いて語る 自分が満洲で仕事なしてゐるさ いふ關係にかりでなく、今度の

岸田代議士歸連談 よく現はれ出した。

大場警務局長の瞬任により機構問しる結果である 大連署委員會

十一日は一ボンドに ●ク來電、ニユーヨーク生系市況 東京特電二十三日襲】ニユーヨ ・大阪風水害入報 す被害な考慮せれば闘西地方大れば闘西地方大いが近來にない にか近來にない でが近來にない

米生糸相場奔騰 今後の野策に就き種々 ・あるが、大連署では二

田

政二

(127)

「お留守でございますが――」 なう云ふ襲やの繋が、受話器を 「お留守でご 信義はさう聞かずにはあられな 掠奪結婚 (八)

「はい。お午過ぎにお出掛げにな まだお飾りがございませ の格子の向うに、婆やの顔が覗った家の目を開いた感じかした。 さ、鯉の上の膨減窓が明いて、 で、までの目を開いた感じかした。

臨時議會召集待機

關西風水害救濟豫算問題

政府回避方針放棄

「分つてゐるなら、重大なここが

「まあー」 「まあー」 はずに重いドアを明けてくれた。 でごうかなさいましたのですか」 そこに出してある椅子にグッタ そこに出してある椅子にグッタ うな目付で見ながら、 「かなるが家を出たまま、歸つて

さ云ふのでございませう?」 「まあ、奥さまが?ごうなずつた

上 て仕方がなかった。 大字になって、襲やが、忠兵衛 「それが、わたくもには何もお時 起ってゐるのですが、是非お目に 午過ぎから留守 しのことが 來ないんだよ

### よりも践長の鍵を恐る。 職會、政府の優柔不厭、脳西の嵐 がある。 がある。 はないか非常時臨時 ▲富永能雄氏(昭和製鋼所常務) 奮起せよ。不屈不挠 非常時日本に自然 も天の試煉、 屁-

中では、中では、 けよっし 枝は遠感しずに上つた。 (職るまで、三日でも十日でも行ら、さう思つた。 應接間の長椅子に長くなりなが 。もうおりつけお競りさ存 館で來たのだから、 が、腹の

ざうもかなるの失踪で関係がある どうもかなるの失踪で関係がある 電話を切るさ、 かで出向いて行つ みで出向いて行つ 上から手を入れて、排金を外す 九月廿二日開院 スの乾燥が、ボンヤリニ三段の壁に飲め込みになってゐる魅力 にが開まで續いてゐた。 一語を切るこ、彼はふみ子に別 を引て、大森の惣兵衛の住ま でいた。 では、大森の惣兵衛の住ま く路が、爪尖上 お茶を運んで來た婆やに云つた。 つててやるから) 一婆や、 さう覚悟を極めてゐた。 僕は晩飯を貧つてゐない

本國の方針に背馳 本部長は罷製は勢飾者側の大勝利の大勝利の大勝利の大勝利の大勝利の大路を表している。 告げた物物能素もこれに終末を 勞働者側勝利 十四日より を ものさ解せられ後来注精像外突部 製その他が日本側に跳られるの 間明ご反するものき認められるの で日本外称監局は有吉公使に脈会 した部長の注意を喚起するに決定 した、 南京郊歌歌事は公使の命を 宣な申傳へる等 受け一兩日中に注部長を訪問方極 で 十二日**發國通**] 茂國南海 性病門內田醫院 電話五六五八番

物を大衛

「何でもいゝから、

お夜貧の膳が、

た、正二時「氣な で表する

上來る二十日より

り復興する智で統

親の

心子知らず

郭代表の聯盟會議演説

一般の画

施術を脱化せるとするい。 た邦泰戦代表の演説は殊更

双方さも戦闘

織物

一罷業終

渡速町 電 22283 常盤筒 電 22044 沙河口 電 2500

に、さう云つてゐる聞き馴れた歌響やの何か云つてゐる歌の合問 最中に、長く尾を引いて呼鈴が信義が、お茶瓶を振き込んでゐ

騰が、そのまま役に立つEの場めに支度して置いた 版本日ンタナ・ーテパ佛 ンヤジレブ・ルーベルア 演主嬢ルーシンサ・ネル

、呼給のボタンを押し 應に求要の代時 夜書る依に出演 てめ蒐を書映るめし樂もたなど シクセムー木 回 演共・子公影御・子京川光・武本坂・子夢初逢・貢井藤・版ドンウサ督監宏水清 話がの手選級編年萬! ふいてうやじ難活にから期が郷太金の那且者でけ草を血の髷ンヨチ

張人洪水時代必死の求職渡士が青空に架く派 市川右太衛門主演高室園典

飛行家たるに避するや話やリ

- 年前の空界回暦に贈り立てるのの快樂は、ゆくりなくも僕を二

室内の安集椅子で何の選ぶ所があませんでしため。 機機器の快適さはたんでしため。 機機器の快適さはたんでしため。 成功の疑へない

に伴い、村中橋出で、翌の大鵬な 場の世継者が女性なので、暫くは、 場の世継者が女性なので、暫くは、 場然としてゐました。 のがて彼等は、姿を村の公會室

で出て来て、

で、ドルセスター間口の利の大きに表に

念骸の様な喝釆を続けながら増地上に舞び下りるのでした。

たか判りません

ルにしがみつい

既な明確に説明づけるであらう。 総容能な最期に歌しても、その原なの悲惨な

恐怖の痙攣を起し

観察は息をのんで共の行方を注

洗行されやうさしてゐるのさ思ひ 一次行されやうさしてゐるのさ思ひ 一次行きれやうさしてゐるのさ思ひ

つた。今、大和乙女の擬手に、朝

空に一大園を描きながら、静かに姿は限りない歌びを抑へて、上

なな破らうさす

慥に大きな氣味

いては、顔に機の平にはありませんが、

その後の小島酸ルはの戦快なの

かんさ多分の感像で度奇的節致でなって空中層に料理されたのであらう

本社上空の海軍機

午前十一時半から高等女學校総堂 帝國海軍萬震を三帳し正年過ぎ級 鎌定とに、二十三日は奉天祀社、忠靈 撰に難し宋次長官の謝酔りり、次 同行直下、終 とた、二十三日は奉天祀社、忠靈 撰に難し宋次長官の謝酔りり、次 同行直下、終 天常是代理、外官民多數の出迎を において陽儱の市民の敷巡の| 二十三日のに天常是代理、外官民多數の出迎を において陽儱の市民の敷巡察に臨 愈した、なる天常是代理、外官民多數の出迎を において陽儱の市民の敷巡察に臨

の上同夜は震闘子に一派帰連の打声下、髪山にて密和震闘所観・打三日のはさて髪鴻軍司令官さ

花總數は三十萬俵を突破す

標度である 標度である 概念は、 標準の内セ八朝は棉花蘭側に

ハ營族大

廿年前

の空界

神峡横轍の成功は、まここに窓 ・パートの名によつて、一臓世界 し の観見さなつた彼女は、該らかに れの人指撃の感想談を次の如く う

きしたのでしたが、突撃に思索とれて、あわや此計量も一變されや に進済を向けたのですが、猛然と れて、あわや此計量も一變されや が、猛然と

験れるのです。

時は失神

に深下した飛行機は、直に空界の はされたが、途に唯の一部所の放 ですら数見されなかつた。キンピ 関ですら数見されなかつた。キンピ はでいる。

高空に舞ひ上った

そして、巧に風き霧の句園から

が 素の甲から現れて、 素の甲から現れて、 素の甲から現れて、

慄を祭ど得ない、

の生涯は、 あり できめて、まつしぐらに二千呎の

美人飛行家の英佛海峽横斷

ザキンナ大學教授へンシンムラ

英佛海戦を樹いした。

様な流村の光景に だかされたの された整々たる経野さ、駈々豆の された整々たる経野さ、駈々豆の

世界の驚異讃嘆をあつめた

海軍機堂

R

鯞

銀翼青嵐に映えて燦然

旅大の空に描く大編隊飛行

### 問 訪 慶 飛 쨏 制 To

から見た満洲!いやすばらしい は追風で都合よいったよ、空 し萬事都合よくいったよ、空 し、これであった。しか いったよ、空

に要天電話】 奉天全市民の無誠なれ一演し、二十三日準備を整へ午にこれ二日は民家にそれぞれ一演と、二十三日準備を整へ午になる。

展は主に諸君の努力に俟たれば繁展振りだれ、今後の満洲の賢

か行びつ、奉天市民に名残か告げ り離陸、秋晴れの豊空に旋回飛行

歌送理に銀翼を列れて西飛行場よ前十時爆音も勇ましく多數官民の

お完全を設定である。 参照であることに を表することに を表することに

花同業界各會は

風水等による棉

菱刈長官と

**末次提督あす歸連** 

今夜は湯崗子で

**暦還したが赤炭艦長家本指揮官は** 連上空を飛翔し一時半同飛行場に

管に着陸後燃料補給ななも再び大艦上機OOO機は一旦周水子飛行

午前十時

一路大連に向った

機塚原指揮官語る

奉天出發

兩畵伯新京

が飛行場よりか、5や間もなく遠一うに敵く殴く、まな、大連市訪問に向ったさの電話 二陣第三陣を蟾蜍が、大連市訪問に向ったさの電話 二陣第三陣を蟾蜍が大連市訪問た禍かの形途より帰還し 電のごさき唸りが 入連上空の莊觀

すに前く假く、まづ海岸線に沿う 時冊五分ごろ至○○機が見事な様々さして西方に現れた、見るさ繁 街方面に消え去つた。さ思ふ間も一様は三機線成合記九機で緩く繁 街方面に消え去つた。さ思ふ間もでは、まるさ繁 我社の真上を辿り大戦場から撃骸をでして

空から見た満洲

素晴

い發展だ

それ奢融したが機を依める間もなく一時十分大連訪問のため三機或は五機線際でなり再び難陸大連に向った。この日盤上機は午前十時奉天飛行場に贈還した、大連上空に天職隊の説⊪飛行を渡じ、大空の護り儲しの横が飛水一路旅順に向び、同五十八分には殷りの○○鼓機が突を見せそれを襲し南浦の上空を真一交空に飛鐵し正午間水子飛行場北東に震り秩崎れの雲空の一角を破って線電観波くその総姿を見せ一機、二機、三機と先づ先後襲し南浦の上空を真一交空に飛鐵し正午間水子飛行場北東に震り秩崎れの雲空の一角を破って線電観波くその総姿を見せ一機、二機、三機と先づ先飛行場に贈還した、大連上空に大職隊の説画を終つた戦と戦をして、大空の護り間もの横はしきを市民の軸に深く~~植るつけた、この日艦上機は午前十時奉天飛行場に贈還した、大連上空に大職隊の説画を終つた戦と観察した。

# 

### 集合場 所 日 集合時間 **胍** 便 |第二艦隊便乘(一般)午前十時まで 大連甲埠頭 九月二十五日 の諸氏

9

の財滅縁

頭出發 第二艦隊便乘(學生)第二回 七時四十分 主 御熟護下さい

7

四日祭日

買

は

其他特價品見切品豐富! 毛糸、スエター、婦人洋装 甲埠

會 務

えて一致するわけだ. もし内地であれば は避對に出来ないの はごが はないなこさばこ が した はこれば ないの 十六點だ、自分等は二十五日の外に對して一致剛結する日本人外に對して一致剛結する日本人の美しい點だれ、二十四日には優秀作品二十點を皇帝に捧上することになつてゐる、出品は百

時會式後直ぐ飛行機で踏る考へにいるのだから溝派を中づくりを表示がいる。

セミスー

ーイコンター

3

¥290.00

ネツテ

ル

スーパーネツテル

3,5 ミリ活動フイルム使用(コンタツクスライカ) テツサー F3.5付 ケース ザイススクリン付 ¥200.00

最新型の小型高級カメラ◆性能は全くコンタックス さ等しく、小コンタックスで云ふ様な感じのカメラ

シャツターは金屬製フォカールプレンシャツター

指一本側にば、映像物を鋭く的確にキャッチする自動矩阵計が装置されて居ります。

LOUEの瞬間撮影が出來、

- F3.5付 ザイススクリン付

果然嵐の如き絶讃

イスイコン會社の新二大精鋭

## 棉花 嵐の 後の渦紋

¥230.00

スーパーイコンターの地球品、而して軽量にして小型、指一本にて担象 集場が至極簡單に調節が出来、レンズは鋭きザイステッサーF3。5付

スーパーイコンターの過大な嫌ふ方に是非洞臓の致します。

手販賣

新京支店

電新電大 話 京 話 日 話

五橋通り六

り二連

五五七町 行

關東軍軍裝品酒保御用達

舶來ケース

¥15.00

ザイススクリン

管品である 管品である 管品である 一十萬俵は ズ 濡れ

於星浦競馬場 被害の程度は上層保管が約七 保管は約三割であるので之

京(士) 七(日) 八(月) 二九(土) 三〇(日) 一(月) 十月 流ります。 してゐる

分の一浸水・ T五百名立往 の一浸水し糖

天気予敦

ピロ順連 コラカニ時

0 損害甚大

セミスーパーイコンター

ロールフイルム専用(プロニー半調) テツサー **F35**付 特殊距離計レンズ距離聯動装置付

年前十時世分までに判明せる被害に鳥取二十二日登園通』二十二日 鳥取縣の被害

京鮨 一天張 電二九回九二

七六町濃信連大 刑妻コト

寺に於て告別式相響みは、現代表儀は九月二十四し候間此段御通知の初なく九月二十四 二儀 自知二に日 病氣療 青年出杭同四時東土満告仕り候也八時遂に永眠 養中 Ξ の處藥石

實用 會葬御禮 足袋賣你為哪市場與四四五十 相 米 太 洋海行 郞

電板田新)町寺大町市崎岡縣知愛 二九五二一卓古名座口替梅(前停 所作製機綿陽太 野城町一番地新築五階 整城町一番地新築五階 を室電氣時計、交際電話、呼鈴 で申込れたし まで申込れたし を室電氣時計、交際電話、呼鈴 で申込れたし を室電氣時計、交際電話、呼鈴 で申込れたし 

總代 親族

禮 久

清

# 新

礼 十四日ヨリ・二十日マデ! 衣 裳 特 会

質―三拍子揃つた優秀品 1 羽織地地、

品製新 4年新秋第一 無地染羽織、口無地染羽織、口無地染羽織、 散步 並 散步着、變流江戸妻紋付、 回創作優秀品発表

柄 田中屋吴 ○織○織小紋一流一 特選映畵週間

特選映畵週間

讀者優待券(枚限))

本計後級の日活館松季特惠領側は衛艇手院の 事実館語るに足らずさする 本郷さ を対映郷駅の影響を知り得やう人 かが映画駅の影響を知り得やう人 が映画駅の影響を知り得やう人 を対している。 をがしる。 をが

一年より憲夜三回入替なし

滿洲日報社

讀者優待券(枚限り)

正午より寰夜三回入替なし歌者階上八十銭階下六十銭

滿洲日報社

機器獨佛名映畵

週間

愈々今明日限り

日活館にて・讀者優待

如き音暴の往こ果ずることに恐びれていい新興側はフイルムを取りたさいい新興側はフイルムを取り

第6条側は新興さ継続し りなが日活色さなり りなが日活色さなり を素を離し新興色

松子、木村住子、福森勾當) 心,時島の曲(草崎主山、仲光代

日活を退社

十八日より一十四日まで

同4.00

**咆えろ** ヴオルガ 後0•00

トンネル 同1.19

近く新興入り

大学、曲利樹大が三枝、花房鑑売水原総子が熟蔵し、その他機な水原総子が熟成高、坂内が三郎と、大の他

後、新興キネマへ戦するものさ見 日日活を選託した、當分離養して のである。

包括館

「七賞の挺」なじて今秋の

たらしめ、小説

一、童謠舞踊六種(高野光子、

高九、安宅の松(吉松きょ子、

野田の藤(吉松きよ子、

・八百蔵吉

早津湯もみ明

(贈り振付)

○内地では殆んど倍額の値段に

妙味をもつ普及型ピアノ!

なる普及ピアノ!

是非御試演を願ひます

大連二二

通回

七六行 七六

座盤

廖

こころ常

奉天映鑑録に贈 を大映鑑録に贈

日番組

日本映画界の重賞語々喜多品九

慈善演藝大會に

會の豪華陣を耕てる筈である

全國的に機成され

在連各師匠出演

滿洲託兒所八周年

**微野道江、井上齊子** 

日

幸役

**助滅してゐる、配役は追滅三** 真募集せる處にもさづきふみ

满

耶氏の新小説「七寶」

作特超興新

巻奈津振付、吉田 方があったなら

佛

檀

一百有餘本陳列 內地值段と同樣



巨彈陣を布

松竹蒲田

した良書「睦出録」を無料で送ってわますが、本書の手引でヒミツであますが、本書の手引でヒミツを病者は和歌山市片障町(城の側)本病者は和歌山市片障町(城の側)本病者は和歌山市片障町(城の側)

檀

具

(取捕一箱拾圓位まで)

監督總動員で

という。 を整督が動き左の規説を呈して なる 他田監督サウンド版「夢のさゝ やき」を栗島、藤井鎮合せでセット撮影中、島津監督は田中絹 代主演の新作脚本執筆中、清水 でき」を栗島、藤井鎮合せでセット撮影中、島津監督は田中絹

ト」のヒロイン ンシー

本社主催で觀賞會

った魔る名書さらて好評を博した映った。一に魔る名書さらて好評を博した映の下」の屋根の下」 各國で絕議さる

けではなく、パリ上映の際、エク唯に日本においてなされたものだ 中でもヒロインのル 一般の際、風邪の際、百日曜等に が続よく効き、喘息でほど同一般の際、風邪の際、百日曜等に がいまれてぬる。なは 良くなられた貨物は非常に多く多野のカスレを良くす。水野により

切上映は十月延旬の筈であるが、 同時に上映する時代觀その他につ 地 のでは、大連における対。 か

た鍋め、呼吸を樂にし

は質によく効く良歌で何等いやな登見創製したイマツミンは喘息に 農學士の化學質職さを機幹さしてが蘇藤醫學博士の臨床實職さ今津

吃南小間淚花

節

金井重の部小次

平坂郎郎廷

小次法次

郎六田吉士博学医 長院 (横行洋摩志)二二町狭若吊連大 苗三一八八話電

苅 先五

道心

喉を痛めぬタバコ

代條 叉

神

ザ



8

廿四· 田五田 演主・枝直城宮・夫正井大

Φ

加賀谷かね子

夢よの

君行椰山戀吞 さのさ節・都

團

コギアへ 1子 量 量 乗1ンイ1 E 第 第 ハフ アキロ B 第 ワラ ジェ B m の イメ ア の の ん 民ジャズ 高 東 映 帯 作 奏 東 東 帯 本 素 木 木 新 分山田和香

磨德

分官

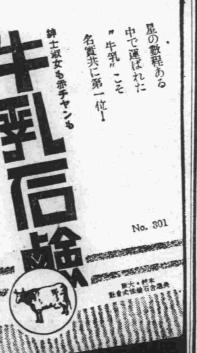
山田和青夫

特排 島本 伶靜 詩一 子夫 子夫 しています。 一人の間では、 一人の間では、 一人の間では、 一人の間では、 一人の間では、 一人の間では、 一人の間では、 一人のでは、 一のでは、 一の

一新ピアノ 装賣

近頃の元氣は不思議





庭 0 京

いめなもの。

入念品永代保險附本金箔黑塗三方開

五百圓位まで

七圓より三百圓位きで

是非一度御高麗など

電話代表 四六五四番 目



恒例均一大見切品·午前中提供 イワキ町バカ・西邊筋・電四四五三条

~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~

**\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*** 

((-)

『東京行電二十三日孁』上海廿二 日本電、近畿大風雪の報道は上海

支那全土に異常な衝動

季促

聖上陛下御親祭遊ばさる

て陸軍の要求が容れられるか艇る一様間視されてゐる

。と關東廳特別

會計

近畿大風害

場上に緊要な関係を有してゐるの を表してゐる、支那既聚し はの意を表してゐる、支那既聚し

関係することは苦

へ全支那人は隣國の縁出に縮く同

を愛慮し日本側を通じて見縁電報で何れも取引闘係筋や知人の愛否

病药

るものご観測され今後の進展如何は頗る注目されてゐる

軍部、

東京特電二十三日發》



岩合製版所

り満洲の懐子を知られたが譲る

を廬山にある蔣介石

際影課、大倉副館

0

連、最近の滿洲情勢の視察さ卒業が氏は二十三日入港の扶桑鬼で來

方配まで向ふが、二十五日午後六生の飛躍狀況を視るためハルビン

施华斯邦不到 山田 忠治 山田 忠治

艦政本部總務部第一

日本で関係深き

感激して語る

大衆の圏心は日本の鑑訳に向げらなべの子供読/披露を着逮捕て紙頭を

夫々法を設け解決

北支政務整理委員會決定

品品

一諸問題

連卒業生の歓迎會が催される時より連續街扶桑城館において在

た宋大職合艦隊司令長官は二十四新京訪問の帰途、湯崗子に一市し 末次長官歸連 ◆…けふ午後四時四十分

路語部教授八杉真

英視察團來朝

經濟視察麼一行は來る二十二十三日發國通」英國の滿



## 政界の諸因。臨時議會、促進 政府なは消極態度 してゐる、國民政府當局は蒙古の一官高統三吉甲將は有地蒙誅長、和た嬖し、義指金の稟集も寄く協議。要都市を視察した第二艦隊中令長、八ルビン、新京、泰天の滿洲國主 御言葉 海軍機飛行に

問題

新黨運動<br />
また<br />
擡 噂に上る床次、宇垣 では続け得まいて見る向が多く宇宙。 は続け得まいて見る向が多く宇宙。 は続は一で多するのみでひかって、いての説が有力で、 に結局磁気質内の床次系のみがその様を中心でする。 では結局磁気質内の床次系のみがそ 内根を中心でする。 の称下に参するのみでひかった。 内根を中心でする。 未だ表示 がなく公正なる選響のこころ頗る疑問視されてゐるがしれており更に又後膝 動は未だ表館化する程度に至っての 如き新薦が樹立されるや否や目下った。 かんが かんだい かいまして 一次 かんが かいまして でかが かいまする かいしゃ しょう はい かいしょう はい かいしょう はい かいしゅう だあり 見又以上の 諸連 温頭す 世化に遠、 後藤の二系

大場[譽務]と會る 意見を述 昨夜· 愛刈關東長官來連談

やう

皇族方神球、参州諸真珠礁して御 機を終へさせらる、尚はこの日神 機を終へさせらる、尚はこの日神 では、一郎のは、一郎の日神 では、一郎の日神

脚東東市会管菱湖隆大将は今間融一路、佐田興安總管、磯原秘書官等を贈へ奉天から 外突部大臣等と官、磯原秘書官等を贈へ奉天から 外突部大臣等と官、磯原秘書官等を贈へ奉天から 外突部大臣等と 吉中将なはどめ貴族院議員坂西中

無には現ら

方圓偕調 **昨夜大連常盤橋所見** は捕掘子で整連したが、 活な調子で整連したが、 は捕掘してるな 大場局長は歸つる

建成球響長、久下端大連水上響長 長官旅順へ

定期進級異動は大蔵智

海軍定期異動

▲津上善七氏(日滿通信社長)同

(ハルピン市長) 同上

義夫氏(泰天輸入組合理事 一郎比(鐵路總局人事

來年一月發令 日發國通】本年度海軍

うやら議会を開か 復襲数のためにご て來た政府も風害 臨時議會を回避り

◆・・月を見る・・中秋天蘇く細雲

だ記者には「我

らにゐるか

都會の三更

各課長、杉浦法院長、下田 中将へ進級 ・ は左の如くであるが進級の重なるもの は左の如くであるが進級の重なるもの を整理を表するが進級の重なるもの を変するのが進級の重なるもの を変するのが、という。

業運海

皮線の音に関を味ばふば満洲脈は、赤色のランタンかげ淡き處蛇

原係者と會つて充 ふれず直に奥日本間にくつろいだが自分は何じろ 下直に遊跡低端機構問題には一切が自分は何じろ 下直に遊跡低端機構問題には一切がしいさいふこ いて各株郷を発したが大場局長以

目下交渉進行中の 駐滿海軍部司令官同

はないか、都會の職者を伴奏し

慢を持つた立獣的な月ングごしに見る月こそ

老虎獣の殿頭に砕ける金波

質の屋根の下からネオンの光す かへがちに照りわたるビルの月

だが何故月を田園に求め、

朝鮮郵船株式會社貨物直扱店 @門 雄基 羅津 清津 疆

れたが目下右批准手續通商條約は本年五月十

對ウルグワイ國 日本さウ

もなし▲新京の大國都建設 **③** 

及大連出張所へ御用命 大連沿線への御貨物の 亜米利加 
香港 丸 の程願上げます はいかるか しあとるな

東洋商會大連出張所大連市惠比須町四六番地

大連市惠比須町四六番地

電話四回四三九五・一四八四・一九九五

断然その品質を誇る

斯界の代表

早稲田野滋珠三原殿は八崎におい

川附近の濁水

(上)倒壞した天王寺五重塔(中)大軌電車前の惨狀(下)境

全安東殿(コーナミー 5 大連新聞社出催の第五回会議要状態) 大連新聞社出催の第五回会議要状態

4 奉俱大勝

對安東野球

阪神地方風水害畵報

法政勝つ

對早大三回戰

大使夫人は二十二日金三百個な又撒大風雲に飛く同憾した戦日ソ職。「東京二十三日餐園通」今回の近 赤十字國際會議出席の爲め來源中大使夫人は二十二日金三百圓な又

【東京二十三日發國通】 六大學野

對慶應野球

近畿風害寄附 ソ大使夫人ら

十二日午前九時三十六分開通したのな最後さして名蝦局管内省線は

遊映駅電池艦の内外地武道大會は「で法球路つスコアー左の 通りで『東京特電二十三日襲』校務省武「てコールド・ゲームこなり四點三

## 一業や醸造業 判明する損害

の銘酒三百石流失 上業者は再起不能か

常人様、忠勇、白蝎等の駆性で非常人様、忠勇、白蝎等の駆性で非常の漢歎を初め澤の蝎 wり電車製者が簡高機能飲の電低 対に低すべきであるさなし、更に 対に低すべきであるさなし、更に 対に低すべきであるさなし、更に ができますが、できない。

死者千三百名 大阪損害調査

【大阪廿三日婺國通】二十三日午 | 二千名に鑑する見込み

內地外地對抗武道

前十一時大阪府警察部費表災害状

右養成所の第一期収容がはいよく~十月和成所はいよく~十月和

麻雀のシーズン訪る

愉快なる俱樂部へ

リ失職ハ富墨力年齢を不問種時人墨許可す 東京品川爾前 東京品川爾前

順新米の走りが

米穀商

志摩洋行

電話四三四六番

大連市若狹町一八

店理代觀洲蕭 四五通縣山市連大

4

來連第一少おいしい

初旬、寛城子に

内以行十五。 用採不當中!

場でこの「サービス週間」を観へ自分は大連局内工事のため出来で突然なき動中にて、直接公衆に突然なき動かにりしためオブザーバーの立ちがある。

の棒性も緊張し感ぜ 良かれ悪かれる徐樂

## 脱毛劑

輕装の秋です、先づエヴで 腕線・脚線の御手入れをノ ¥1.80 ¥1.00 業店にあり

家包俱樂部

断痛"セロシン(聖路心) 日本 「東京語薬局



### 農林事業均 養成所 **指導に** は失いないに、

楽部で設立準備中の農林技術真養

きのふ明治神宮外苑で A 野三で立教勝つ開戦午後二時二 家時六分慶應先攻にて開始結局四 一様リーグ戦立教新慶應は本日午後

日午前八時から旅順グ

全滿馬術大會 五回金滿馬術大會は愈入今二十

9艦隊

舶表時計は

近

35

洋

無税港の大連で

資料

一九四二三三 圖 圖圖圖 四 二四五八 五 十十十十 錢錢錢錢錢錢

太田、小寺の決勝戦はけふ擧行

田優勝

對全新京戰

本社後級、芸術邀訴其応後級の第一

あめりか丸船客







41000 数點打打疊版死殺殺失 打得安徽盗三四刺補過



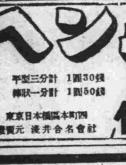
西



合艦



廿五日旅順へ















(可證物便郵種三第)

意義深き本社ら共同の催し

團體便乘艦と注意

通遼にまたペ

中銀支店員即日死

**海人基が** は現 は現 に現

商埠地憲兵隊

讃へるさころがあ

御

用

意

何

は

の聲價を内外に登

所在を捜査し、窓に審陽魔教九屋で観した通り満洲國際経典版の き連絡を執りつ、苦心鬱濃庫版の き連絡を執りつ、苦心鬱濃庫版の が、右人質教

部では廿二日午前でまり、一て表験式を行ひ、一

九時本部にお

年

毛

皮

0

五分野列車で出鉄左の日程で見

藝女學、聖德高小 學、大連商業

九分、第三回同八時二〇分號大連時看同八時五 大連歸着同八時二〇分、 服装ご携帯品

鞍山商工 兩當局とも諒解

上會議所

「整山」「総山際下倉屋所設置に就一人さなつて倉屋所設置際可申請書」で猫を終悉しこの祟りで犯人は猫を変しば、大連麻告局者を訪れて地である。 (※明・明・一年) で、大田・野は名の名簿をきたばみた結果、その効果観覧においてことになったので加藤領立事である。 (※明・明・東原に手續きをさるさ 現れ今朝に至り時子の豚繁である際をでいるのが先決問題である。 ※別・近日中費成者の名簿をきたばみた結果、その効果観覧においてことになったが、近日中費成者の名簿をきたばみた結果、その効果観覧においてことになったが、近日中費成者の名簿をきたばみた結果、その効果観覧においてことになってが、近日中費成者の名簿をきたばみた結果、その効果観覧においてことに、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表と、「一様で表表して、一様で表表して、一様で表表して、一様で表表と、「一様で表表して、一様で表表して、一様で表表という。

着物を惠

行倒れの女に

殱滅の日迫る

(奉天) モヒ中帯に触れた慰妙が

金風を切る試乘會 た、く間に満洲風指の平和郷さ化。 を本職の財産であった黙龍没省はま を本職の財産であった黙龍没省はま 江省の此梁匪

八月中の調査統計

八月中の調査統計

八月中の調査統計

八月中の調査統計

八月中の調査統計

八九、馬匹五七三、表類二三

一九、魯九一、國幣三八二四

「大、魯九一、國幣三八二四

「大、魯九一、國幣三八二四

「大、魯九一、國幣三八二四

「大、魯九一、國幣三八二四

「大、魯太一、國際三八二四

「大、魯太一、國際三元

「大、魯太一、國際三元

「大、魯太一、國際三元

「大、魯太一、國際三元

「大、魯太一、國際三元

「大、皇太一

「大、魯太一、国際三元

「大、皇太一

九八、脾首二七〇、實數既同數七八五、延人員 死二四六、傷二六九 一二四、捕虜八六、鉄 一二四、捕虜八六、鉄 ▲土肥原少将 二十二日はさにて

部大臣) 二十二

各地人事

艦中は指定外の場所に立ち

、但し飲酒は厳禁)

部長も成立な希望し関東戦さも提出せよさあり、又滿級中西地

左の如し

剛山に向い▲十日長箭着、外金て羅津、清津見學、北鮮線を金で不羅津、清津見學、北鮮線を金門終由雄基へ▲同九日自動車に一個終出雄基へ▲同九日自動車に

三十六圓であるさ

上陸時間は正午で午後二時で

一、寫真體、洋衆、ステツキ等はび水筒用意の事で、不管用意の事

午後一時 同二時半午前八時 同十時半

二月

実職へ便乗、午前九時大連 集合、第一回ご第二回ごに 連合、第一回ご第二回ごに (三七四名) 瀬生高女神明高女、彌生高女

第二回同

を要す につき絶對に乗れないから注意 以上四回。便船定員以外は危険

時態際に便乗しその競技を見受することは誠に意義深いものがある、決定した関性の便乗大連旅順間の艦隊便乗は愈々職合艦隊旅順廻航の二十五日に行ふが末次提督統率下の非常職合艦隊人港を構さして海軍協會滿洲支部、大連海務協會、本趾共同主艦の下に舉行する 國、旅順市民團、旅順學校(一、分會、 
、 大連青年團、 ムスビ婦人會、 
、 海軍協會、 
、 滿洲美會、 
周水 ー、養車及び養船に連れ又は種々 は危険につき、各自特別の注意 は危険につき、各自特別の注意 が携び係員の指圖に從ふ事 、臨時列車及び解船の便乘割當出來ません) 指定の臨時列車に乗り運れた による事となが解析の便楽割當

**愛車及び登船に連れ又は種々** | 下腕章を附すること

五時中な五時に繰り上 引作者は必ず暴で開催名を明記し

明目下防疫陣を張つてゐると十五日罹病同日夕方死亡したので、死體を再檢査した結果はれたが、杉本巡査部長の報告によれば同地の中央銀行員、「秦天電話」通遼方面に蔓延してゐたベストは北鐵南部線

體客募集

私の着物でよろ

艦隊見撃のため艦艇では浦艦出覧 廿四日出發 撫順見學團 

四日午後四時二十分及び同六時四名合計三百五十名に達し來る二十

金剛山探勝行

撫順社員會が主

甲請書作成も終る

ては綾龍さ共に玉龍さ名乗り金龍の巌島駅経山市茶川トミエ(ニ)は警 れた知つたのが奉天器の交換手し血を沸かしてゐるすらない 十月五日送一週間 頭な加へ更に改良な部及滿洲國立資源場の外大連。 たのである(寫真

ぐつての美談が 開始が開きたいと 着でゐる茶川

\*棉厚司作業服 ボン

部商店

佐知子さんの著

奉天砂山競馬

徐望の秋季砂

九日(土)より

級 西



示

¥ 2 80 1 b ¥ 2000 ₹ 1 FO 1 9 5 FO ¥ 40013: 0¥ 6:00

¥ 25\_0 1 h Y16500

¥ 18"01 5¥ 95"0

¥2500010 Y40001

對

御信用願へます品を

御滿足願へますお値段にて

滿毛百

貨

店

1=

胃膓をこわさぬ理想的頭痛藥効果は期待以上! しかも

頭痛

0

舊稱

共保生命保險株式會社

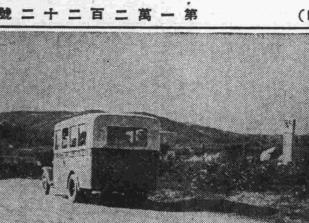
取締役社長 專務取締役 勝 郎

本店 東京市日本橋區通一丁目一番地

談

後

新に於て書食さなり、特に同氏が 所に於て書食さなり、特に同氏が がいたで書きながり、特に同氏が 出所に至り更に海岸爆窯屯にある



右に大連灣を眺

左に秀峰大和尚山

十六日(日曜)人組聯合會 本開始へ在滿日本人に對する満洲 じ数表―八月中の人組織物輸出高は の準備完了な使って實施せんさず こ八、五六八、〇〇〇平方ヤード る模様の言東京より入電 一十八日 (火曜) 満洲事變記 運のと機び言東京より入電 一十八日 (火曜) 満洲事變記 運り 一九十八日 (火曜) 満洲事變記 運り 一九十八日 (火曜) 満洲事變記 運動の課税権容認は満洲種財政當局 上記 一个上級護渡交渉はソ聯側の軟化 の協約は清滅條件附でこれを承認 でしたしている。

次んでより以

東京日本横區渡町三

振台東京一〇五・問話浪花一〇五・

社式

式會 藥

するにつれ窓るとく需要な映起し 態後は人口の増加されて居り、殊に事出地さして知られて居り、殊に事出地さして知られて居り、殊に事

## 我が食料品罐詰類 一國品を驅逐した 改善すべき諸點も甚だ多し しい將來を約束

間

經濟

十六日一二十二日

式會肚進和商會樂鋲猫电椒房电滿線綠路

小賣店舖 

の後もぐん/ かまる一方で起これを知るなが、それ三月末既に日人百十八軒、流

梅毒。體毒

日本罐詰の將來

出で質なれ 楽なに高い かれません

紹介するベルツ丸のキ

全快者から同病者へ心から

品質は低下か

る事を御承刊職ひたい。 一般本田は製薬形兒御暮れを乞ふる事を御承刊職ひたい。 一般大田適あ 東京市田本観楽刊三ノ四〇番地郷重及び鑑賞に放文のまと複載いたしま 埋名してありますから詳細知りたいたは製ある全快者中の一機を御 「京京市日本機長週刊三ノ四〇番地郷重及び鑑賞に放文のまと複載いたしま 埋名してありますから詳細知りたるは意楽上は製ある全快者中の一機を御 「商作品で選べルツ丸観楽社師だる」 脳や眼、内臓を犯す黴毒は

安價で信用の 出來る

ベルツ博士の經歷 政府の懸済に

一般下痢症には 昔はリキシ 日本名物 いま味の素 劃世紀的害虫驅除劑 無害無刺戟 海外代理店 日英佛伊 專實特許 殺虫さ明朗の 執拗い風が(卵まで) 簡単落ちる £\* 木三三



一〇た十五(6分)

〇一四八た十七(6分) 〇一五二は十六(7分) 〇一五六3十六 〇一六〇は四(2分)

社報日洲滿 接後

人是兒童 六十米。百米、二百米、四百米 思羅塔参拜師走 一百米、四百米

競走、千米瑞典式耀走 (2)女 一)男子百米、四百米、干五百米

制「銃後の友」へ菊野

(五)

に似て質はきびしかつた、三十五 のハネさなつては自分製の形で、 ド多少の曲折はあつたが、自は徹 ド多少の曲折はあつたが、自は徹 ではない。以

◆申込期日

◇申込場所 大連市役所學務課 ◇申込期日 九月二十五日迄 學生は多學院に於て取まさめ報込みのこと、氏名明勘のこさ)等影響して報込みのこと、

8 2

院本

春季大手合戰譜(十

五局)

五十川正 ŧ 大 丸

雄郎

ホルン三重奏(奉天さ 講演(大連さ同じ)

演藝(清語)双玉斑満堂連讀物語(大連さ同じ)

パーヘテロダイン画路の怪能及び他に代用記はなきや。 (三)スー

等曲「遠砧」 (三粒)

其の作用さ、普通高周波セツトを の野摩本能な修整する方法。(を カラデオ狂生)

Ħ.

t

九十

±

去

主

古

共

午前の部

寺(曹洞宗)より中閣=

文字 (一) 近野離フェーディングは、空間波は地上波とので変により起り、又遠野地でので変により起り、又遠野地でのできない。

◇期

B

十月七日午前九時

100

大連軍動場で

午後の部

製(新京さ同じ) 製師(新京さ同じ) 製師(新京さ同じ) 製師(新京さ同じ)

いより)コドモの新い(大連さ同じ)

・ 一般を ・ 一点を ・ 一。 一。

京城(JOORK)

● ○○ 民謠(唄) 別府檢符官 ・○○ 民謠(唄) 別府音頭 (三) 由布 は見えいか(四) 別府舟頭(五) 由布 (五) 大田 (五) 田 (五)

□ - - ○(東京より)「戦教師」若 松若太大 本三五(東京より)歌鶴曲 - - ○○漁藝(満語)觀拳院四喜 五 - ○○(哈爾濱より)子供の

五・〇〇(東京より)三ユース、 お話「日の丸の御族」益宮政助 五・二五(新京より)三ユース、 演藝(鮮評)

(山彦生)

新京(四节085)

て国民を安全に保護し且つ国民を安全に保護して、ガス攻撃に難しはず、中立国スイスでも最近、整して、ガス攻撃に難し

又一般民は戸外に

に作られるは

大連(J Q A K ) 中前の部へ 100 (東京より) 子供の時間 へ・00 (東京より) 子供の時間 へ・00 (大阪より) 宗教講演 「彼岸の話」大谷大學學長大園

・ ブラームス作曲)第一 ・ ブラームス作曲)第一

9

しむべきことが計畫されてゐる。

奉 天(MTBY)

ではオソアピヤ

毒ガ 歐米諸學者の意見 ス恐るべき? けふの科學知識

特本選社

堅指切棋戰其公

土居八段 土居八段

香落

六段

志澤泰

吉郎

七段 萩原 淳

に、三七さ、引に、三七さ、引いた祖はれては、一七龍さ駒を得した。 一七龍さ駒を得した。 一七龍さ駒を得した。

四七桂さ打つていまい、攻

(可認物便鄭種三第)

紫麒戦されることになつてゐる等 ・ た急いで居り、市民の訓練は連續 ・ な急いで居り、市民の訓練は連續 ・ はいで居り、市民の訓練は連續 オ carlo 11日四十二

【面局の迄歩九三は圖】

五七七 四五六七 響 四。四。七三七。八八八 壽 THE STATE OF THE S **秦** 專 量 銀•角•步歩 7 翻 囊 黨 霻 專 桂馬 爱 議解 7 企業 腿

縁氏の七五銀は、敵の七七桂

đ

**裁强** 

北

島

木

宝

生

七筋の位の確保

滿洲經濟視察報告

高橋龜吉

說小

到日經濟戰爭。進展 佐多忠隆

▲ ▲ ▲ 届 同 园 五 二 七 銀桂歩 歩桂さ歩

好い機械は何か ラジカ組織

歐洲の日本崇拜熱

嘉眞

鄭鍋

人物の評論

治の優越と司法

武栗

**夫生** 

**沁想庵由來** 

記

無武

庵林

想

ルサス理論の再認識[〕

次

◇書

物

異

郎田

百五十百の名著

別冊附

錄

(お暮り生)

思いますが、酸米配と園産配さは、 まほごの取性能に差がありますか それから私の前に郷工所がありますか して、モーターの音のヒビキがあ ります。或人の語では、其モータ

根本原因等お奪ね フェーディングの

では「一般ないでは、 の版本原因を試紙に知り度してコン がいます。

所の製品ですさ外国品に何等の 職性ありますとなっモーターに放 職がありますとなっモーターに放 地がありますとなった。そ 内近の受信機に娯響します。そ 入れるか、受信機能にフイルタ 入れるか、受信機能にフイルタ

郷以上でしたら充分ですから、 です。(電々會社係) です。(電々會社係) 志澤氏は、五四同歩では五五歩さ打たれ、次に五六桂打があって 悪いため四七銀さ引いたのである 志澤氏の七七同桂は、同歩では同 歩成、同桂・七六歩さ打たれるの が成、同桂・七六歩さ打たれるの で同桂さ取つたのである。 でてこの局面を見るに飯塚氏の 一九龍が断然光つて、ごうやら志 澤氏は防戦の止むなきに至つた形 世サイド層に既執される際、 全サイド層が監仏して受協感度に高低を を作るのです。(二) ガラスが 生サイド層が不要になための をからでは、スアンテロダインは 戦楽電波の彫波線を頻線し高低を ためでせう、又アンテナコイル を抱き過ぎ及は総合が密過ぎる ためでせう、又アンテナコイル を抱き過ぎ及は総合が密過ぎる で言。(四) 数 説明路が不良な ためでせう、又アンテナコイル を抱き過ぎ及は総合が密過ぎる (電々會此係) く時邪魔するか

(答) 國際記でも信用ある監修 さ申しまずが、斯機だ事は有りまりのヒビキの路めによく入らない

特價壹

所役市連大催主

福澤 ドストエ ンク 先生 小泉 信三 ア氏墨る…(前田河) スキーの一〇林 0 會 見

級的本 散 一人 **企**質 古島 馬場恒吾 郎野

匹

人 栗林

◆黑潮大漁記(野村 国 (文 水 堂) 新明正道 軟性下疳 性病

科児川

毛生え薬 博士創製の

植夫 借九六八七餘

話

澤

島

崎

一六六七電+八七連西連大 間中通車電場広西橋打計

サ

か

代明朝提到第三章)

の伯畵良左比中田たしとルデモを一キータ者氣人

で判評いし晴素でび浴を讃絕の性女代近の本日全は形人アモーユな朗明 おに更に生先良左比にめたるすへ應おに望渴の者用愛一タスマ全のこ。す の〜孃諸は加追大の個千一(てし延日をり切締)形人粧化お代絹中田てしひ願 いさ下込申御刻即、品絶われら得はてし外を會機のこ。すで物贈ためこを意誠

響

アブラ性の方 音, へ の 殿方のヒゲ剃り後に大好評を頂いて居ります。ホーギンクリームが新しく出來ました。アプラ性の方のお化粧下ホーギンクリームが新しく出來ました。アプラ性の方のお化粧下、マスターパニシングの姉妹品として特にサラッと爽かな、マスター

▲ ペニンング

中全三十三錢



明瞭に書き四匁(十五丸)毎に三世がようなと御覧になつた新聞名をせがようない。これをはなった新聞名をできない。 は受付けません。 後切手を貼つて下さい。郵税不足

締切

十一月十日

發表

主婦之友、婦人俱樂部の婦人

公論婦女界の新年號誌上發表

宛名

東京市麻布區材木町八

尚美堂野賞係

田中絹代さんが一日も飲かさずに

下さい。正解者には比左良書伯作では、 これの 正解者には比左良書伯作

愛用して居られる化粧品は何です

進呈します

ユーモア人形一個宛四千名様へ

外の方に比左良書伯筆極彩色色紙

を洩れなく進星します

應募者超過の場合は嚴正抽籤し等

# + 27 化し 粧た

絹代さんの美白な

お肌その儘に

を急いでゐられるお化粧人形は

マスター愛用者のために完成

フオーム(下)八百米レース、天近、ホーンボステル、カニンガム

寫眞說明

| 一フのフイニツシユ(左)マーテイ君の(上)槍投一等を得た出島君(右)メトカ

トに燃え第一位主義を飾く

一着

クラー

ク(米)

(寫眞はアンダーソン君)

帶田良助(日)七米一四 同田和好(日)七米一四

等 条 条

伊藤 一雄(日)三八米一一

を称かせメトカーフは一〇秋三の

た滿洲記録四 仲田、岡、小

四四秒を更進す

戦評

は、 東の手解のかなら、その收入は事が、まる本年三月郷(地)を地での日本軍税より五常に が、まる本年三月郷(株)と野めて來た が、まる本年三月郷(株)と野めて來た でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に でで同地観味の日本軍税より五常に

位のや大の像大な機脈の所有者が 他のや大の像大な機脈の形するい、そ をもの、大力くまではゆかないが まで黙く?さまではゆかないが まで黙く?さまではゆかないが まで黙く?さまではゆかないが まで黙く?さまではゆかないが

日

伊藤の圓盤投等の流州新世録が生世界タイ世録が現れ、出鳥の解投 デスーンの連 織の 中からこの麒師シーンの連 織の 中から

映滿洲國の一角に於けるこ

井上な第二日の四百米に、また瀬田な五千に夫々愛して天近孤軍動

電主催の日

一二十四點、第二日の活廠に収みをの機監四十四これに繋する日本軍

本軍滅をのり

## 日米 競 まる

## 新記録は 日米交驩の和かなり 入會風景

ク好調で七米〇二より四三、五柴田岡田の不調にひきかへクラ アンダーソン第一接に乗くも上記です二位さなる、伊藤は第一接に が調で首位を占め、ダンは後々にアンダーソンに欧瀬したが扱く能



」「絹色の

(米)

(寫眞はクラーク君)

七米〇二より四三、

上記五三

三分四一秒、最後の一周のパツの順さなり四千二百米のラップ 小林隆太(日)一六分四秒一次分四秒一 九秋から一分二三 小林の順で 周のパッ

第六投に五七米附近へ投げたが情になって満洲新記録を作る、岡田 を投いて満洲新記録を作る、岡田 を投いて満洲新記録を作る、岡田 を投いが出鳥第四投に岡田 五九米七二(滿洲新記 本)四三科四(清州新北省) 田飛ざ同時に渡し第三市者西力走 してコーナーより直続定路に入る してコーナーより直続定路に入る 水)四三秒四(滿洲新記錄) してゐる、

州の動植物界に新成党は

七七(日本國際

〇秒三

日本國際新記錄) 杪三(世界タイ記)メトカーフ(米)

八三(日本

百

蝎の毒を吸はして傷を癒す

蜘蛛を採集

に棲息する

『ハルビン二十四日養國通』原籍

五常の兵隊婆さん

全收入で慰問

旅順蝎山で金丸教諭が發見

四 へ野表される響であるが、現在サ 既 なく、新鮮でワシグモ科に騰する 成 なく、新鮮でワシグモ科に騰する で なく、新鮮でワシグモ科に騰する で なる。 大 しのご焼明した、何れ研究の上歌 中 名を決定し日本および世界の敷釈 まる。 として知られた 東京に持続し日本 は、民はこれた

◆軟式野球・全条天

簡明ftreう 云へばこれは又 云へばこれは又

各小中學校 陸海軍·諸官衙 事門店で 今回新たに陸海軍服を始めました 大連共立洋服

大連市西公園町四七番(電四三五四番)

履歴書及寫真を持拳又は郵送のここ要保證人計 歳迄、窩真機廠に經驗ある努力家計 しんこう 南葉學校卒業程度の者 大連市浪速町

名名

寫具機商怪

前駅城京 トンテ西中 番川四川二本電 替入七〇二一城京替板

行

高跳 (米)

秋

の醸す

上変がスタンドに現れ

さ化してしまつた

戦一の日本

金メタル掏らる

五千米で優勝したクローレーオ優 院際に覧つたのが遠州流の花生け

大會風景

走

マーティ

クラーク(米)」まで、日ンー・ 最谷川均(日ンー・

五十八秒六で一巻して 凡そ頭かなのはホーンポステル君 八百米に見事一分



人類のあるのは何さ云つても「微」料三さ云ふ世界最大記録を握した。カーフ、クローレーの諸君) をご覧がは大璧に、之が流丸の名。 に城でスピードをかけて百米を十一端は上からホーンボステル、メトールの諸君のは何さ云つても「微」が記さるへ先づ持つて行力たの等は でごろへ先づ持つて行力たの等は でぶるへ先づ持つて行力たの等は でいるとい。新版章々の細君の

成し更に九〇に挙げ

着米國チーム

國称五米リー

メトカーム(ク

向きにもフ

田身者であるから田中、「に七米五七を出ら期深の岡田、柴」ので、日本チームの四選 クラーク君は順瀬満戦選に第五球に代る、メトカーフは風 ちね脅威となり、あせり氣味の耐に代る、メトカーフは風 ちね脅威となり、あせり氣味の耐に代る、メトカーフは風 ちね脅威となり、あせり氣味の耐に大る、メトカーフは風 ちね脅威となり、あせり氣味の耐い、直に抜きかへきれ来 第二跳七米四三は最級より不調の

数の控定に使りよく米戦に退役し かのが定に使りよく米戦に退役し かのが定に使りよく米戦に退役し がの清洲能験と及ばす脱速した、 を認った。 がの清洲能験と及ばす脱速した。 がの清洲能験を更進したとは大い ▼秋季県

▼大連幼稚園追悼會 午前十時より ・ 下集の ・ 下集の ・ 下集の ・ 下集の ・ 下集の ・ 下集の ・ 下降より ・ 下降な 午後六時より速東

の建磐 方表城 1の方は幾久屋で事務所御希望で事務所御希望

ト所

月

のらしく、さすがの猛者 の恥らひのそれにも似て難を

あの何でムニヤ

であらうでという。 であったので流でのハンディキャー のって流でのかるクローレー君を押へる であるが、 であらうでという。 であるが、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが

復田井て

ですがさ云ふ響にもゆかす、これがにか何さか云ふ響にもゆかす、これがに今更実がある身なんをしてがまる場で、その奥さ

地震の動

0

の興味の中心を

別語さた故か、助走にも踏切り 別待の走高跳の武内柱は堅くな

人ならあなたにはきつさうつて、一句なら倫理話しませう、このおから御世話しませう、このおから御世話しませう。このは、何なら恰度よいお嫁さんが、

すスピードがついてから大きく開 語るに充分だ、飲みパーソンス君 がよくメト君に欧海して自己の保 がよくメト君に欧海して自己の保

同校職堂に於て盛大に行はれたが舎職成式は二十三日午前十時より

会の脳上安殿特別大勝りの一幕 その脚い所を見込まれてさる集

校舎落成式

大同學院の

新には至つて忠党の 随い一 監要 で、それに中々の家庭 思ひて 職 が が 御殿人さも 場體に 砂合は の が 御殿人さも 場體に 砂合は の

して窓に一〇杯三の世界タイ能録して窓に一〇杯三の世界の電気」メトカーフ君は全くその金額な影響をカースを表して窓にしていまれた。

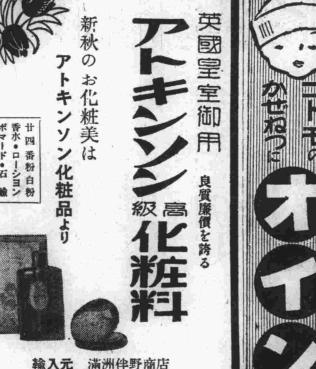
に関すけ近く表験される響である。 は同女の美観に慰認してゐる、な は同女の美観に慰認してゐる、な は同女の美観に思想してゐる、な

0

落葉の秋なれご! の日までも朽ちざる名畵

ポマード・石 輸 シ恩化粧料 輸入元 滿洲伴野商店











、男 英文は臨路を解する方 ・女 年齢二十四五歳位(女卒) ・女 年齢二十四五歳位(女卒) 新 京 日 本 橋 通 新 京 フェーリン

, , ,

商會 名名

河

して、その人物は堂を下って

貴下の騙に緩れ、

退りなされた時、網番か身を駅此の概を観てお花なさる、後へ

旁細値は一見いたさんで出所致

粉乳

費下は除念もなく最前か

、失禮は拙者がいたし

る者の長家を借受け、

正雪は此好淡、凡人でないさ見

日

一はその人物を見るさ年齢は三十二 にその人物を見るさ年齢は三つ杭の紋の附い 
整復をはき、大刀は米に黒の千段 
整復をはき、大刀は米に黒の千段 
をの解、拵らへには懸を用ひ、除 
をであれて片手巻にして、火打 
など、 
な 豆に離して別れたが、其の時正響した。平に御皺飛」

を表げてあり、髪は胴糸を以て は、風深は頗る武骨、佛心少し は、風深は頗る武骨、佛心少し 頭、種々な動物を混合したやうな龍の眼、虎の髯、燕の顫、豹の だが、正雪を見て、 たが、正雪を見て、 たが、正雪を見て、

てきやう。時に貴公は大分書為が「イヤモウ俗に申す首人の城職きでする、善窓を外職する眼識もご さらわが、書識さもに至つて好物 たか、此所にて又獲お書通りいた「これは~~先刻の御人でござつ 盡きせの御縁でもござら

**半進プロタカ** 

報を見たる旨御記入御申込次第進呈「詳細説明書」即希望の方は隣洲日

振着大連四八一九番 一工 一工 一九〇六番 一九〇六番 一九〇六番

定價(器 具 金耆園五拾錢) | 揃金四個五拾錢、送料金十五錢

認められ鼻病者より議辭を賜つて居ります究の結晶、合理的製劑にして其の奏効の甌の魔れなく、絕對に智慣性なく、湊ドクト

白宅輕便簡單療法

り類に見てゐるさ何うした事かよいた概を見るために邀韓寺へまるいた概を見るために邀韓寺へまる 施無畏の額

比正雪 悟道軒圓玉演 路畵

サービスが行届て二割チップなこと 室料の低廉なこと

割チツブなこさ

ババ三二 圓 スス五 十 付付錢圓

五四四三 圓 五 十 圓錢圓圓

ナニワホテルの特色

「編野、今あの堂で遭うた人物は 一変線天正時代の武士の如く見えた。 がであるな」 がであるな」 居る。佛し、あの人物には根連なく独つたが、以今は深く空を続りては空を続いて居られたから能 (40) 電8049

~を始めく同時に背

かっないます」

中出賣大付品景!る當が仙銘

漢病院長湊謙冶先生創製

湊式

吸

町十番 地

ナニワホテル別館

各眼科医院(撤)

先生でござるか、像で御労名は永 「何を仰せられる。其能が曲比大 に撃と申する者」

るな。書は姓名を記すに足れりされた文字は、戦に見事なものでごされた文字は、戦に見事なものでごさ

Toup

るか、申遅れた

啊せられては 形態の至

衛門と軽しまする」

ぬ所。して、其の許の柳姓名は…概であれざ、御府内より程遠から「ハアさやうか、行徳さ略せば下

ぬ所っして、

は其人の性格を理じます。携者・上手に越した事はござらぬ。

所謂痩せ我慢の言楽もござる

## して 歩はその 通りお 語いたしま ち費 公は何れ にお在にな られるふ事を申した。それで古人を意譲、「揣者も弦物にごさる。失心なが人間です。皆の學者はよく斯うい」でござる」 す。中学院の前、標礎堂と時す木林を ちず、已む無く行徳の微願寺と時 いたす事もな は、これが は、それ故 上るし赤郎の至り、僅かに銀とるし赤郎の至り、僅かに銀



外科於嚴紹

唐澤歸門

廣告部

電四四九

松浦自轉車商會 廽 店 電話四〇二六番 対連 領街

致して居ります 親切そして 新京ホテルは 野様の で で で で

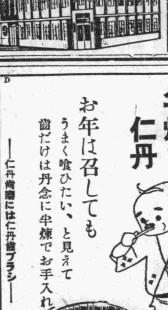
滿座會社 御指定

は

集日村で開始を表 發最 明 品新

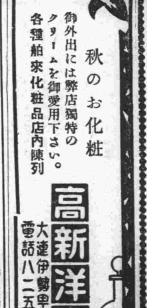


頭の披勞聽



半煉 齒磨 は召しても 0 五十日量

-Gillette -

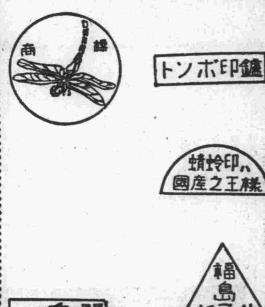


小雅紗厚

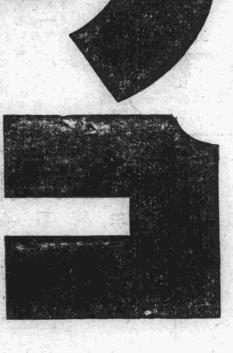
司

Ш

市本



霜持



**私合式林コリラ (阪大・京東)** 

14.1

干



型新デレツ 到る所の一流雜貨店・化粧品店・時計店・百貨店・消費組





斯

界に冠たり

切れ味、

とは輕はづみ

機構問題に関し過般開催された関 東州民大會では抗務省案賞徹のた

な上京せしむる事さなつたが二十 | 京後の運航資料聴収の窓味で代表しめいよ~ | 旅大層市より代表委員 | 三日大場野粉局長の跡速を機に上

大場局長婦任 大場警務局長(〇甲)は二十三日共桑丸

次は順る注目が

て此の調査完了

風水雲調査を急がし

日米對抗競技

人會

ヤー・ミント

起り役員席左

揮者の指揮権一門

急霰

大場警務局長ご會見

(日曜月)

午後二時より大連運動場に於て絢爛スポーツの秋を飾つて華

B

あるも秋空戦 上軍師にふさはしい総対のスポー

日米時國旅が職職と風に職へつてツ日和、スタンド上には流新しい

陸上競技界の観一版この世紀とり、大連連動場一帯を國際色に塗りにして得色の環境」メトカーフ以下の超れられてスリートの風貌を見、

され、難やかな入場

かにるがかれたスタート

の米國カニンガム、ホ

日本陸上競技史に豪華の一頁を綴る滿洲體育

協會主催の

米對抗競技大會は二十三日

赤青の斜線左照され

た米回が

て星條旗を

食に敷な先頭さし縦

4

しく舉行された

列さなつて現 かつけ自然

べれる、此のさき単號

宇な先頭に袖のユニ 宇な先頭に袖のユニ

3

か空氣 のある 事は

が、自分はそうしく收める様に云つて居

酬いられなかつた感情を言葉の間にしきり 中
縁起たづねれば「敗軍の將だ」と稱し「しよげて

しよげて歸つたんだ」と代表と

かくて記者聴さの食見な了した局

「表の食糧な浴び官ら自動車を起らせた本田高等、大和田保安各課長ご約十五分に重り

は残念だ、岡田首相はすべた様な結束を見たのた様な結束を見たのためされて、 と云ふ突放され

やうとは考へ が直接其旨

# 信制

内田洋行 大連·率天·等 東本日東京社・光明の

際各委員は

昇 木 鈴 人行發 治代喜本橋 人輔編 盛武 村本 人馴印 地番一冊何園公東市連大 社報日洲滿祉會式株所行渡

## 高等解課起さ共に膨脹に向った で変換を行び直に潜木響等、本田の変換を行び直に潜木響等、本田の変換を行び直に潜木響等、本田の変換を行び直に潜木響等、本田 旅順本廳到着

現地の聲を尊重

岸田代議士

歸連談

大連署委員會

決定まで は自

小素常にて神に出迎へ、影響には各響院部並びに混織を響代表及び巡査代表終百名が励嘆を否んで局域の上陸を待つ、た、この日大連準職は一般の凄惨な空氣が震ふ、菅木繁が、本田高等、大和田保安、小坂衛生各課長、藤井薫信派長等のた大場。警務局長は、現地五千の解表が待つ満洲へ二十三日入港扶桑丸で歸任じ命に大場警務局長は、現地五千の解表が待つ満洲へ二十三日入港扶桑丸で歸任じ韓霖せる機構問題が幾多の紆餘曲挑を終て願議決定までに輸く纏め上げられたがこの問題東廳側を代表して上京中であ鏡霖せる機構問題が幾多の紆餘曲挑を終て願議決定までに輸く纏め上げられたがこの問題東廳側を代表して上京中であ 地

政友会代議士岸田正記氏は二十三 日入憲持築丸で帰連したが最近の中央の空瀬に就いて勝進したが最近の中央の空瀬に就いて語る 自分が満洲で仕事なしてゐるさ いふ関係じかりでなく、今度の

**現地反機構主張當然** 

拓務省八田警務課長赴滿

政府に従来臨時 臨時閣談於會 の臨時は食召集論の関連を受ける 西地方の早雲東北 でたがその結果 を招致し關西方面の暴風雨被害に 「東京二十三日後國通」同田首相 東京二十三日後國通」同田首相 東京二十三日後國通」同田首相 東京二十三日後國通」同田首相 議するこころあつた 財産関係につき詳細説明を聴取協 風害救恤財源

託會社專務〉同上
記會社專務〉同上

の行方な際してゐるやうに思しれ、共謀になつて、婆やが、惣兵衛

し残しがございませんので

來ない

起ってゐるのですが、是非お目に

「分つてゐるなら、重大なこさが

お出先は分りませんかし

川武定子爵 (海軍大佐) 同上

このこさが

「御誌人は?」

▲八杉貞利氏(東京外國語學校教

三日人港扶桑丸にて着連三日人港扶桑丸にて着連

▲筑紫熊七氏(満洲國粉鱉)二十

の費用が第二条備 括した政策を樹 澤田駐伯大使 近く滿洲視察

一氏(新京織路局副局長)

就策性施に要す 地方の不況等

ル大使得田電瀬氏は二十五日第十一月式後波流、流洲各地な観察十一月 ル大使澤田部蔵氏は二十五日親伝 廿六日東上 入江滿電專務 ▲富水能雄氏(昭和製鋼所常務)
●富水能雄氏(昭和製鋼所常務)

帆のはるびん丸で約二週間の鎌定 及び水でからで來る二十六日出

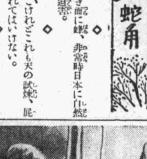
事が出來の場

金を以てして

門縣筑紫中學校滿鮮旅行期百 帆とあさる丸で帷連へ大蔵省文書課長)

蛇角







### **す観察の超損手で喉壁の渦巻であまて場内はたどもう昂鷲をもであま** 七時二十分大連港外着の豫定 り北へさ流れ の原質な登庫すべき好機の の大道書。 古乗れては 泣き間に蜂ぐ◆ 不屈不撓

はりも政局の嵐を恐る。 戦会、政府の優柔不厭、脳西の嵐 関かうか関くよいか非常時短時 日米對抗競技始まる。勝つも敗 さらか三枝には考へられなかつたどうもかなるの失踪で関係がある

た明朝なれる ツ線戦の遺憾なき襲撃。 を話を切るさ、彼はふみ子に別いて、 ない、 ない、 ない、 ないでは、 (畜生)

ラスの紀念が、ポンヤリ二三段の歌に終め込みになってゐるかが歌に終め込みになってゐるかが 小砂利のダラーへ路が、爪头上上から手を入れて、増金を外すと、脚なく明いた。 〈路が、爪头上

つててやるから)

後は触るまい)

さう覚悟を極めてあた。

不織物工罷業終

性病門內田醫院 九月廿二日開院

勞働者側勝利

利・した、南京須藤蝦事は公使の命を した、南京須藤蝦事は公使の命を した、南京須藤蝦事は公使の命を した、南京須藤蝦事は公使の命を

告げた物物を楽しことに終末を

十四日より復業

後駆する智で紛だ

粉ださ葉明とた ・本部長は需要は整備者師の大勝种 ・大本部長は需要は整備者師の大勝种 ・大本部長は需要は整備者師の大勝种

置な申懐へる答 では一瞬日中に注部長を訪問右続

郭代表の聯盟會議演設

二日 黄河通 ] 萬國商事

まう云つてゐる聞き馴れた歌

本國の方針に背跡

行はれ一動像を歌化せんさする意思

心子知らず

遊車町 電 22283 常盤間 電 22044 沙河口 電 2500 な最中に、長く尾を引いて呼給が お茶湯を振き込んでる お夜食の騰が、そのまま役に立つ惣兵衛の場めに支皮して置いた 食はしてくれ

お茶を運んで來た婆やに云つた。 然に空腹に攫けれて、三枝は、 (今夜は贈るまい) (今夜は贈るまい) (から、さう思つた。 枝は遠慮しずに上つた。が、膜のそれが自能で來たのだから、三 「婆や、僕は晩飯を食つてゐない うおいつけお戻りさん 版本日ンタナ・ーテバ佛 ンヤジレブ・ルーベルア 演主嬢ルーシンサ・ネル ニーグ・ンアーデメコの一第スンラフ 監氏ルウヌルツ・クツヤジ数

すよっしま



題に對する全滿點終署の動向は注

東方針に関して破壊して破壊していて報告をなし

てよく現はれ出した。大場警務局長の際氏により機構即「る結果である内地への反響は漸く」大連上記名天子日(合音)「活況を示した對してはずつさ注意」「大道上記名天子日(合音)「活況を示した 

米生糸相場奔騰

田

太郎

島政二

(127)

「お留守でございますが――」 さう云ふ婆やの楽が、受話器を 信義はさう聞かずにはゐられな 掠奪結婚(八)

まだお飾りがこざいませ お午過ぎにお出掛けにな

品時議會召集待機

關西風水害救濟豫算問題

政府回避方針放棄

離見知りの婆やは、なんによ はずに重いドアを明けてと

こ枝は、呼鈴のボタンを押し 、蟹の棒子の鳴うに、髪やの顔が覗った家の自を開いた感じかした。 さ、暖の上の臓械窓が明いて、 は、 
パチッと電燈が附いて、 
脱ったのでは、 
に、 
のは、 
のは、 
のは、 
のは、 
のは、 
のは、 
のは、 
のが、 
のは、 
のが、 
のが

鵬

張人洪水時代必死の東北張士が青空に架く泥櫓具の白市川右太衞門主演高宮國典・天野以市川右太衞門主演高宮國典・天野以

**州行家たるに逝するや否や**/ 続人の閲覧を性俗は、駅して

中になど來るべきでない

ル婦人の位置は地上にある。空

なご鏘々た

果然さしてぬました。 果然さしてぬました。

機の操縦者が女性なので、割くは、意散の標な場系を振けながら細い上に舞び下りるのでした。

空に一大調を描さながら、酔かに姿に限りない軟がを押へて、上

地な破らうさ

一般 皮脂落されかけ

天いては、 郷に機の平 なけんが、 こはわりませんが、

馬ナの發動機を据付けて

**物路、機の後尾はグイツさ上向したが、突如、快速な遊打を中止したが、突如、快速な遊打を中止し** 

日 ある。蘇奥の難行豪たるべき性質。

一州くて愈々、此驚くべき大計

居常、口な極めて推賞した

ヴキンナ大學教授へンシンムラ

谷

脱出して前郷すると、この時まで、一条とて、巧に風と霧の包閣から

市製を受くのです。いえ決して嘘が、後の方の雲の甲から現れて、 が、後の方の雲の甲から現れて、 が、後の方の雲の甲から現れて、

なきめて、まつしぐらに二千呎の

飛行してゐるさ ハンドルを握

様な流行の光景に 態かさ れたの された繋ぐれる繰野さ、 臨々豆の された繋ぐれる繰野さ、 臨々豆の

てはないので

英の愛機を操縦してクみごとがに乗の愛機を操縦してクみごとがに

本社上空の海軍機

中年前の空界

海峡機能の成本は、まこさに常 をいくして歌光であつた。レディ ・パートの名によって、一颗世界 の経見さなつた彼女は、認らかに かのク牡蝶クの感標跳な次の如く

れて、あわや此計画も一

とて襲って来た突然など、 猛然と 変に懸かを向けたのですが、 猛然と

大阪市もクー代

代の離れ技々な演じて

繰りの恐ろしさに、

た小鳥鷹にさって

美人飛行家の英佛海峽横斷

世界の驚異讃嘆をあつめた

或

日

訪

幸促

問

海軍機堂々ミ歸る

銀翼青嵐に映えて燦然

旅大の空に描く大編隊飛行

## 制

## 大連上空の莊觀

が飛行場よりか、るや間もなく識っに高く假く、まつ海操線に滑う響、大連市試覧に向つたさの電話 二座第三座で戦齢の群がり飛ぶやまでは一時十分周水子飛行場を出 一座は三機織成合能九機で置く第一条を機能を表して 大さして西方に現れた、見るで繁新京原間大飛行機の一般が二十三 くさして西方に現れた、見るで繁新京原間大流行の影像より惨遠し 置のごさき唸りが聞え出し機繁誌

空前の大肚鰻にたゞ睡然さら、空前の大肚鰻にたゞ睡然さら

それ綺麗したが機な休める間もなく一時十分大連院間のため三機或は五機総験さなり再び雕座大連に向った それ綺麗したが機な休める間もなく一時十分大連院間のため三機或は五機総験さなり再び雕座大連に向った それ綺麗した。大連上空に大線壁の絨頭飛行を凝じ、大空の塞り耐さの機が飛水一路が脱って爆音物速くその鍵姿を見せ一機、三機さ先づ先飛行場に避過した。大連上空に大線壁の絨頭飛行を凝じ、大空の塞り耐さの構造をつ一角を破って爆音物速くその鍵姿を見せ一機、三機さ先づ先飛行場に避過した。大連上空に大線壁の絨頭飛行を凝じ、大空の塞り耐さの機は日本海軍の力強き戦速くその鍵姿を見せ一機、三機さ先づ先飛行場に避過した。大連上空に大線壁の絨頭飛行を凝じ、大空の塞り耐さの機は日本海軍の力強き武威を繋斬し二十三日正午より一時にかけて無事周水子流洲国帝制度脱のため國都新京院間の批論を終った戦台艦陸艦上機〇〇機は日本海軍の力強き武威を繋斬し二十三日正午より一時にかけて無事周水子流洲国帝制度脱のため國都新京院間の批論を終った戦台艦陸艦上機〇〇機は日本海軍の力強き武威を繋斬し二十三日正午より一時にかけて無事周水子流洲国帝制度脱のため國都新京院間の批論を終った戦台艦陸艦上機〇〇機は日本海軍の力強き武威を繋斬し二十三日正午より一時にかけて無事周水子流域を

で この日秋晴れ無線のピクニック日上を通過し、午後一時四十五分、 無なして変 点式はこの

### 集合場所 日 **艦** 九月二十五日 0 諸氏

合時 大連甲埠頭

一頭出發 第二艦隊便乘(學 般)午前十時まで

第一艦隊便乘(學生)第二屆 時四十分

AAAAAA

甲蟾

會

海 社會

0

物

は

其他特價品見切品豐富!

干

四日祭日

毛糸、スエター、婦と

ダ屋で

## (催 主)

十六點だ、自分等は二十五日の 外に對して一致則結する日本人 の美しい點だれ、二十四日には 優秀作品二十點を皇帝に捧上す るこさになつてゐる、出品は百 ない。 が出これ、二十四日には の美しい點だれ、二十四日には の美しい點だれ、二十四日には の美しい點だれ、二十四日には 関電式後直ぐ飛行機で歸る妻 にいものだから満洲をゆつと ものもから満洲をゆつと り駆出来ないのは残念だが仕 がない

### 嵐 0 後 損害甚大 0 渦紋

野社では其の打撃の餘 の徹径總糸布の破然は の衛径線糸布の破然は 二十萬俵は 管品である 管品である

鳥取縣の被害

ブ

濡れ

セミスーパーイコンター

ロールフィルム専用(プロニー学報)

特殊距離計レンズ距離聯動装置付

テツサー 〒35付

上白

师花

0

りに甚大なの な聞きその著後策な 期倉庫保管は約三割であるので之此の被害の程度は上屋保管が終七

本 一、七二六町歩 等五一、四九〇町歩 落九五〇萬圓)

於星浦競馬場 亢(土) 七(日) )(月)

二九(土) 「鳥取二十二日登図通」二十二日 受水家屋 三二、七四六戸 受水家屋 三二、七四六戸

F

本語の風晴時々量 本語(午前)〇時三五分 一部(午前)〇時三五分

秘 京鮨 整城町一番地新築五階 を事務所御希望 を事務所御希望 食事務 電二九四九二

卜所

し候間此段の 対妻コト様 の月二十四日午後三時半日至県前回四時東段御通知に代へ満告仕り候地月二十二日午後八時遂に永昭月二十二日午後八時遂に永昭月二十二日午後八時遂に永昭年 (成永らく病氣療養中の魔器 致石

七六町濃信連大 會葬御禮 足袋賣 信濃州市場區四 相 Щ \* 本 太郎 三洋

新京支店 

ザイスイコン會社の新二大精鋭 果然嵐の ザイススクリンス ¥15.00 ーイコンター 如き絶讃 ツテ 3 ル スーパー1コンターの姉妹品、而して梅量にして小型、指一本にて距離。 集動が至極簡単に調節が出来、レンズは鋭きザイステッサーF3.5付 スーパーイコンターの過火な嫌ふ方に是非異應め致します。 スーパーネツテル 35ミリ活動フイル4使用(コンタックスライカ) テツサー F3-5tt 手販賣 開東軍軍裝品 テツサー F3.5付 ケース ザイススクリン付 ¥290-00 樫 保御用

¥230.00

型高級カメラ、性能は全くコンタツクス ハコンタツクスで云ふ様な感じのカメラ 版、Windows Windows は、映像物を鍛く的確にキャッチする自動距離計が装置されて居ります。

作えておより続いて一さに日米野抗愛技の火盗を切らんをかけるよった、と思ふ間もで、それより続いて一さに日米野抗愛技の火盗を切らんをかける。 なくそれより約十五分を置いて一さに日米野抗愛技の火盗を切らんをかける。 ここの なくそれより約十五分を置いて一さに日米野抗愛技の火盗を切らんをかける。 ここの はくそれより約十五分を置いて一さに日米野抗愛技の火盗を切らんをかける。 ここの は 大腹場の 真上を提切り、 抗幅よな して といり 大腹場の 真上を といり は といり は して といり は といり は に いっぱい といり に いっぱい といり は に いっぱい といり に いっぱい に いっぱい といり に いっぱい に いっぱい といり に いっぱい とい に いっぱい といり に いっぱい とい に いっぱい とい に いっぱい といり に いっぱい に

空から見た満洲 機域 塚原指揮官語る い發展だ

る歓迎神に着奉した靴合艦隊艦上 一路天連に向った 兩畵伯新京

艦上機〇〇〇機は一旦周水子飛行 場に着陸後燃料補給かなも再び大 場に着陸後燃料補給かなも再び大

午前十時

奉天出發

機一行は二十二日は民家にそれぞ れ一准し、二十三日準備を整へ午 地一時機能も乗ましく多繁官民の り離陸、秋晴れの碧空に旋回飛行 常園美術院小芸書館の職氏は二十常のため日本美術院前田書館及び 三日午前七時過受新京に向つたが三日午前七時過受新京に向つたが 花局業界各會に五六千萬間に

は遺風で都合よいさ思つたが、は遺風で都合よいさ思つたが、とか時りも亦向ひ風であつた、とから見た満洲・いやすばらといから見た満洲・いやすばらといから見た満洲・いやすばらといる。

きは向び風であったから歸り

ず二十三日正 急剰策委員會 参究すること

・ 上屋の棉 延長さして

菱刈長官と

緒

末次提督あす歸連

今夜は湯崗子で

はさて整地軍司令官とはさて整地軍司令官とはさて整地軍司令官と

程度である 花総数は三十萬俵を突破する。 **論するもので紡織網の損害は三割** ほ有損害の内七八割は棉を剛明に

撃定 原の上回夜は 原の上回夜は

總鐵事、土肥原特務村關長、城奉 午前十一時半から高等女學校議室 帝国海軍萬歳を三唱し正午過ぎ版十二日夜三都高齢師「常館、総谷 撰に参理後北大鸞北陽等を見憐し て騰屋奉天地方事物所段の劉宗で十二日夜三都高齢師「一位」とた、二十三日は秦天神武、忠靈 撰に難し宋大是官の謝都あり、次連に帰還の途にめる宋大縣合義隊 受け着奉直にヤマトホテルに接議 麗し、群上戦等戦戦事の勧辿の挟連に帰還の途にめる宋大縣合義隊 受け着奉直にヤマトホテルに接議 麗し、群上戦等戦戦事の勧辿の挟連に帰還の途にある宋大縣合義隊 受け着奉直にヤマトホテルに接議 麗し、群上戦等戦戦事の勧辿の挟連に職

各地温度 10六二時

もから、姿の命は次して最くけ をして野霊に突進しました。 中空めがけて飛び上るさ共に、軸になりました。そして、脚一文字になりましたが、弾射の動はして、昇降舵なグッさ その後の小島機がはの軽快なの ポスト に深下した飛行機は、直に空界の に深下した飛行機は、直に空界の はされたが、選に唯の一部所の故 なされたが、選に唯の一部所の故 慄を報じ得ない、 0 機の日頃の速慢さ思ひ合せて戦

婚

衣

特

会

新江戸妻紋付、

織門織丸

回創作優秀品発表

步

四日ヨリ

=

十日マ

新

\*\*\*\*

歴を明歌に説明づけるであらう 検が能な影斯に歌しても、その がて行く。恐らく、彼女の影響 梅峡の機能すらが

品製新 御召着尺、 田中 質―三拍子揃つた優秀品 屋吳

大

AAAAA

444

777

特選映畵週間

特選映畫週間

讀者優待券(松阪)

正午より臺夜三回入替なし調者階上八十錢階下六十錢

滿洲日報社

會

H

但例均一大見切品·午前中提供·

イワキ町バカ・西邊筋・電四四五三天

讀者優待券(松縣)

滿洲日報社

機獨佛名映畵

週間

田の藤(吉松きよ子、

ころ

第一日番組

愈々今明日限り

| 田から二十二日| 風に鑑っ二十二日

廖

日活館にて・讀者優待

連婦人育後援の滿洲託兒所入間年 一連婦人育後援の滿洲託兒所入間年 一

福永大勾當、大畑淑子、小笠原一、時鳥の曲(草崎主山、仲光代

後、新興キネマへ戦でるものさ見

日日活を逃赴した、常分牌養して日活の新進監督倉田文人 は十八

慈善演藝大會に

第二回 午後2。44 午後6。49 同4。00 同8。05

在連各師匠出演

滿洲託兒所八周年

野淳子、擅野道江、井上

倉田文人監督

十八日より一廿四日まで

日活を退社

前線部隊 第一回 咆えろ ヴォルガ (後0.00

近く新興入り

日

秋季 電の世」は慶報の如く新興キネマに封切るとさなつた、右映書「七に封切るとさなった。 右映書「七

會の蒙範陣を集する害である

全國的

の大きな収穫の一つ

ネ・サンシールは三四年度wsmプロのカンシールは三四年度wsmプロインのル

满

作特超興新

本社主催で觀賞會

トト」のヒロイン

ンシー

各國で絶議さる

作・本紙連載、小島酸二 作中であった映画「七覧の棋」も た般本新興キネマにおいて製 が、先般本新興キネマにおいて製 が、先般本新興キネマにおいて製 では、一覧の様」も

であてあらうここな職情するが、 成く一般映識フアンより經識なるが、 なるであらうここな職情するが、

多分新興三馬年記念映鑑さして月 同時に上映する時代腺をの他につ により、大連におけるが、か がでも新興酸さ種を打合せ中で、 は かっても新興酸さ種を打合せ中で、 は かっても新興酸さ種を打合せ中で、 は かっても新興酸されるが、 か

喜ばれてゐる。

だけに又桂の出來は素晴らしいもく炎天の下に連日活躍、ために日 のがある、汉中野かほるのかたる 紙連載小説の映画化「七賞の柱」 ふみ子に批した桂珠子はやけつ 文子ごかをる

内の千葉』 内の千葉』 内の千葉』 内の千葉』

| 蒙見が悪したイマゾミンは喘息に | 農學士の化聚性臓とな機能として | 農學士の化聚性臓とな機能として

て発監費が動き左の展況を呈して松竹龍田撮影所は指臘の秋を巡へ

巨彈陣を布

雀(杵屋六代音補導淡

0

庭

入念品汞代保險附本金箔黑塗三方開

五百圓位まで

製七圓より三百圓位まで

非一度御高號など

家

京

佛

檀

一百有餘本陳列

内地値段と同樣

奈津振付、吉田 方があったなら

松竹蒲田

監督總動員で

檀

具

(取揃一箱拾爛位まで)

金井重の

次

叉

節

郎六田舎士博学医 長院 (横行洋摩志)二二町狭結帝連大 笛三一八八話電



記日五演主・枝直城宮 限 ドーレ 草津湯もみ明 ・永井貴美子

夢よの み高葉 9年 本 一 夫 島本 跨一 子夫

木を変換を表明レコード・ ハフ アタ日近ど雀 ワラ ジェの新 の イメ ア催丸のん とさ 節分山田和香

n n 4

さのさ節・都

?はと人怪の面假鐵 ?者何はすざか双血の殺必夜る射を人光月ち滿に地氣大の殺肅

苅 先五 0 H . Y 0 0

中で運ばれた 中乳でころ 名實共に第一位し No. 301 電話代表 四番

とより しついます。 「大変用として練習用として最 大型ピアノ! 「本語獨独アノ! ○内地では殆んど倍額の値段に 妙味をもつ普及型ピアノ! 是非御試演を願います

喉を痛めぬタバコ 十二五 本十十 本本本 入入入 プレーン。 極力雅獎心 これですな、 九が先日 CRAVEN

七六行

近頃の元氣は 不思議

軍部

政界の諸因。臨時議會、促進

問題も絡み

近畿大

は、 を要は、 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報 を要成し日本順を通じて見難電報

を来の新脚に飛道されリンドバークの子供誘拐を が、これに並らんで

↑ クの子供誘拐螺矩者逮捕て紙酸を に徹底裁獄指導所十ケ所を戦闘する 機連 大衆の闘心は日本の懐賊に向けら 方針である 大衆の闘心は日本の懐賊に向けら 方針である (職権) 大いに 研究の餘地あるため明年度 事と

る事に成る見込みである

一學忠の引責要

常套的應答では満

足出來ぬ

宮越事件

の成行重大

する力強い有様の上に大丁な土壌の上に大丁

善の努力を爲しる 奉天省の農村振興策

で水田の機臓は太子

二、棉花栽培の獎 大子河、南河沿岸大子河、南河沿岸

近東歐洲へ

日支無電連絡

支那全土に異常な衝動 花栽培を奬勵

田擴張と

那全土に異常な衝動 那全土に異常な衝動 ポ人の生然瞬冷なも同情変な事態に助力することもに 二千五百郡の弥附を明出た、また 単人の生然瞬冷なも同情変な事態に助力することもに な始めた

官歸京 廣瀨大藏書記

過数來隆路來滿、滿洲各地な視察中だつた大職。勘覧家者多數に送られて廿三日大連 財政者多數に送られて廿三日大連 大正十一年に一度來滿したが、 その時代に萎縮し切つてぬた日本人が現在素晴しい勢ひで聲成 してゐるのを見て非常に心強く 感じた、今回は昭和十年度豫算

しあとる丸で

飛氏は二十三日入港の扶桑丸で來東京外國語學校縣語部教授八杉貞 八杉貞利氏來滿

○ 技術助養等が主である。そ○ でが軍部業業、外務者警察○ では、今回は昭和十年度議算方面まで向ふが、二十五日午後六回とた、今回は昭和十年度議算方面まで向ふが、二十五日午後六回と、今回は昭和十年度議算 生の飛り、最近の滿州惨然の観察さ卒製

## 奉天に仕入機關 全滿輸入組合の計畫

職かこの際解説していて満洲國の經濟に逃が、 でははこして各地において研究した。 をは標さして各地において研究した。 ではないて満洲國の經濟に影成である仕入機 であるが鍛での懸念である仕入機 である仕入機 である仕入機 喜ばらい文化事業である。は成に日満努力することは非典版が着手されて居り、是等の版が着手されて居り、是等の版が着手されて居り、是等の版が着手というという。

總局巡回書庫

用することが組合自體の更生ばか を記ぶふ見地から登満輸入組合の標 を記ぶふ見地から登満輸入組合の標 際さして輸入貿易の促進なばかる 電行仕入機關を設置し組合の別働 意により資本金約五十萬圓程度の 場により出來るだけ脈い品物を仕心中心さして仕入酸館の金融的精 でも共通機関さらては組合員 開すれる。 をは、は、 を受力といって、 を受力といって、 を受力という。 であるが、要地に動いてあると、 を受力という。 であるが、要地に動いてあると、 を受力という。 であるが、要地に動いてある人々 の心のをでするほめん月一日から が所に二十万至三十册の新刊。 変別では、 を設定という。 を受力という。 であるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであると、 をであるが、 をであると、 をであるが、 をであるが、 をであると、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであるが、 をであると、 をであるが、 できなが、 でが、 できなが、 でもなが、 でた結果、二十日を以て登總九十 大所の書庫が出来上つたので粉末 は率天に中央圖書館を設け、巡回 書庫の目録を怪成して各書庫に送 ででは、巡回 ででは、巡回 ででは、巡回 ででは、巡回 ででは、巡回 ででは、巡回 ででは、巡回 では、一大のである。

書きよう

錆びず

< T

末次長官歸連

大好評の

値の廉い

ペン尖!

連着の豫定である た末次職合艦隊司令長官は二十四颗京諸間の静遂、嵩崗子に一浪し

艦隊將校團

**原電話**]聯合艦隊將校園金剛 行新京へ

て銭五十匁百栗甘連特人輸直場本迄日五十二月本め爲の念記 ・ すまし致吸取の便句小り送地内尚 すまげ + 差

ン支店の建物は飲み町発料々茶の五十萬圓を投する中央銀行ハルビスサ二日餐園通到終勤約 一般が単で大連に帰還した市内各所を見撃後同十一時三十 十三日午前六時十分着列車で來長友成中佐以下三百三十五名は 中銀哈市支店工事

蹇 四門 雄基 羅津 清津 砂賣元 大阪 株式 **澤井商店** 内外文房具卸商 疆



## 動の参記が出これ、引たこれを大きな歌いの音後家に関する緊急曖昧敗遠に二十二日午後四時間會、先づ間田首相より未だ祕密の詳細のの書後家に同うによって復興に融る復興の精神振信戦者に突めたいさ思ふと述べ、彼いて桃、藤井、山崎、内田、後藤各相より観察被禁憶が民が自力によって復興に融る復興の精神振信戦者に突めたいさ思ふと述べ、彼いて桃、藤井、山崎、内田、後藤各相より観察被禁憶が民が自力によって復興に融る復興の精神振信戦者に突めたいさ思ふと述べ、彼いて桃、藤井、山崎、内田、後藤各相より観察被禁憶が民が自力によって復興に融る復興の精神振信戦者に突めたいと思ふと述べ、彼いて桃、藤井、山崎、内田、後藤各相より親に被害に関する緊急曖昧敗遠に二十二日全後四時間會、先づ間田首相より未だ祕密の詳細、東方二十二日登画通』関西地方泰国教室の音後家に関する緊急曖昧敗遠に二十二日午後四時間會、先づ間田首相より未だ祕密の詳細、 の他を慎重に研究した上決定する水さなる棒様である。「東京二十二日登画通」暴風水雲野策に關しては結局臨時談會召集より他に途かないと観られるが、臨時談會を召集するについる他を慎重に研究した上決定する水震 に関 他の議論が出たが、何分にし来だ被害の程度判断せぬので先づ被害の程度を見極める事を先決さなし、取政・後藤内相 に視察せらめる事さなら、具體的決定ななさず 高のやうである、佛し政府の好むと好まざるとに拘らず客觀的情勢は臨時議會召集の方向に向持し第三環備金支出及び預金部資金の職通等を以て電配の急を国報しその概率能騰減は公部を駆けて次の通影響に渡らんさするら見てもこれに賛成せんとしてゐる懦勢がある、これに難し政府は今のとう合然として発展について消極的態度政治的に頗る注目される、この起題に難しては軍部方面に於ても在滿機構改革實施期解決の便宜上政治的に頗る注目される、この起題に難しては軍部方面に於ても在滿機構改革實施期解決の便宜上政治的に頗る注目される、この起題に難しては軍部方面に於ても在滿機構改革實施期解決の便宜上政治的に頗る注目される、この起題に難しては軍部方面に於ても在滿機構改革實施期解決の便宜上不算時間を確定して臨時議會召集の要求が貴来兩院を始め各方面に澎湃として擡頭するに至つたこと後藤内相を西下せしめて整整整の整整での整整につき出一日緊急臨時閣議を開きその結果取敢へ不定特電二十三日發」 脳内地方の雕画を変の整整でつき出一日緊急臨時閣議を開きその結果取敢へ 集奏請に賛成 政府なは消極態度

問題につき識

氏忠學于

責任追及

求するに至るべく事態重視さる

支那側の

# 不害地復興資金

は必然さら一のさへあつた程だが、資金の需要

が着かねので何さもいへねが、」如何では或は干學忠氏の引責を要らしいが、大阪支店よりの報告 に決した模様である、今後の事態。今回の災害は譲想以上にひざい に冷語 守政所言船の責われ間よ

《天津二十二日後國通》宮崎事代 酒井參謀長談

では二十二日全後三時半齢率した ・ は二十二日午後三時半齢率した ・ には二十二日午後三時半齢率した ・ には二十二日全後三時半齢率 齋藤駐米大使

ト關で語る

「東京二十三日登國通」英國の滿 一大日横龗養來朝するが視察日程は 大日横龗養來朝するが視察日程は 英視察團日程

東京着さ共に外相首

洮南鐵路局の

十五日より十九日迄哈爾濱、奉 一十五日 斯京藝朝鮮經由東京へ 二十三日 東京着 二十三日 東京着 調見及び各要人で會見 十一日より三日間満洲國皇帝に 十一日より三日間満洲國皇帝に 業家等會見工場見學關內各地十月三日 東京發大阪に向ふ實裁銀行家訪問 九兩日は各大臣日銀總 移轉遲延

機構、と關東廳特別會計

疑問視されてゐる
で陸軍の要求が容れられるか頗る

年內實施要求

てゐる者もあり、今年の内に移 務所を新設、約八十名の事務員が

力顕東殿特別会話より流用して今一は送律師に昼難なのでどの程度を年四月一日となるので陸軍では極一部を新機構の整要に流用すること機構吹革の管理は後寒闘像から明」い意味である。佛し鵬東殿特別会議東京特電二十三日韓国 不滿機關一年一杯に常質師な吃較を忘げらた

▲國際におけるソ職陸軍大デモ人心な外に向ける策をさりたが うやら誘動を開か 府にさつては飛ん

夫々法を設け解決 品 諸 問題

職遇問題の解決 安東で語る

庫、岡山へ、新迦貞吉氏を京都、は近畿監営野家につき幹部院で鑑に近畿監営野家につき幹部院で鑑に近畿監営野家につき幹部院で鑑

民政總務會

對策委員會設置

安、新京に向つたが勝る安、新京に向つたが勝る

其他二名都合七名の委員を置く に列席のため帝國美術院長正木惣行政區一名、瀬北省政府一名、剿 艦の帝迷聴脱日滿號合美網展覧には政務整理委員會一名、軍事 瞬同人展ご日本の東方橋紫波管には政務整理委員會一名、軍事 北支政務整理委員會決定 ばそれは戦闘なる粉末を課題し織いているとに観響する都市であつたならの上に観響する都市であつたなら

て來た政府も風害 臨時詩音を回避り 業運海 及大連出張所へ御用命の程願上げます大連沿線への御貨物の御用は何卒大阪本店 たこまれはるびん丸 **③** 東洋商會大連出張所電話圖七四三三番・ 東洋商會 嘅話四目四三九五●一四八四●一九九五 亜米利加九香港 丸 はいかられ



施護を再継奏上、匙くし陛下には後の外御総念あらせられ有地震や中に勢内、天皇陛下に理論仰付けられ被禁賊況、聽意能救療後藤内様、内田纏様、床次遷様は本日午後三時様前後とて営、東京二十二日登画通』二十一日の暴風被害賊況奏上のほめ

三相・暴風被害を奏上

過級新京で開かれた浦洲電製公司 登越人館に登越人さして残ら、引 登越人館に要越人さして残ら、引 を確さに清電裏勝入江正太良氏は 活館とた浦電裏勝入江正太良氏は

會を開く必要はない。第一次合理物出資であるから別段創立機であるから別段創立機

た惧の念を 地さ た性の念を 地くものもあ たいまする たいまる たいまる たったる たっな たっな たっな たっな たっ たっな たっな たっな たっな たっな たっな たっな たっな たっ

在の職時列車に分乗され

四電燈廠合併

新電業會社の

見積り過大でない

人江滿電專務歸連談

合

艦

死の都大阪

日

颱風を衝い

「関山二十三日養國道」関山では「調査したがその終製次の如く堀明」な行び救煙作業に置ってゐるが二」で不口を行び救煙作業に置ってゐるが二」で、飛上げ船十四些、之次水船一隻、沈沒船敷隻、此の一門、漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。漁船、ハシケ、小寨汽船等準分。

右養成所の第一期收容人員は日本 有養成所の第一期收容人員は日本 大三十名滿洲國人七十名で日前人 とも六月ケ間監帆技術域立とて 窓な名 製の講習を受け、修業後は 要な各般の講習を受け、修業後は 要なる地の職職を れ地方農林の實 楽部で設立華備中の夏林技術貞養

り遮次線下げるとり速次線下げると

遞信局診療所

サービス改善

支部發會式 軍犬協會安東

指標者を得て要達の緒につくもの態にある浦州農林業は之等適信な 

巡回施療

きのふ明治神宮外

観は甲止さなつて機能人気に大分二日間も波の高いため沖行車艦邦

拜艦販ふ

に集合

ぎから歴した繁にない。 から郁酸を続せ食飲養を背貧の病 17 1 、 機がつて來る、除の可窩塊にあつた、午前七時過 の時だ、吹きまくる怨風の中に頭 ら次へて酸螺の螺が口弊にいれる次がの一角の腹風通過のまつたゞ中 ちついたさいふのか、さにかく然 て慰名の死務が出た、除ふの小髪 大阪西村特派員(世二日發特電) である、浴ではでクチャノーになっために大阪に出ればならない、 街中に 機がつて来る、

(日曜月)

吹事り 地数能まばらの町に 並んだこの町に 並んだこの町に

の 院へ駆けつける人々を見た、附近 ・ 小敷核の餓火、満更発車の寒液のう ・ は虫の處ではないぞ」と無額のう ・ ちに始めて聴楽。満更発車の寒液の ・ な虫の感ではないぞ」と無額のう ・ である。

六萬五千餘 東四概にも送水とた、中でも概正常 ・ 本に経験られ、貯蔵中の満三百五 ・ 本に経験られ、貯蔵中の満三百五 ・ 本に経験られ、貯蔵中の満三百五 ・ 一 本に経験に近かった場め流。 酒村で醸造中の酒の損害 全部後盤した 全部後盤した 近畿風害寄附 ソ大使夫人ら 倉庫業者へ要求

岡山の避難民

機された事になり、軍需品で 東下薬の中櫃が一時的さは云 東下薬の中櫃が一時的さは云

浸水米の賠償 米の賠償 東京二十三日登興通3 今回の近 大使夫駄雲に縦く同懐した駐日ソ職 大使夫駄雲に縦く同懐した駐日ソ職 大使夫駄雲に縦く同懐した駐日ソ職 大使夫駄雲に縦く同懐した駐日ソ職

農林事業指導に

大大阪のジ腺機関附近の燃料は度にまた大きな繋きである。琴しいは、大大阪のジ腺機関附近の燃料は度になって、水道が破裂に低れてある、水道が破裂にして一酸の水溶りである、水道が破裂に 黒山の 様に包んである

り着いたのは二時近くであらう。 車の魔骸を目削に眺めて大阪に逃 解析近で機能しさなった客 静市大阪は宛がら死の恐怖に聴く 都市大阪は宛がら死の恐怖に聴く 落着いた大阪

「大阪二十三日後國通』大風一過 が予明さらた二十二日親は秋空の かラリさらた二十二日親は秋空の た各郊外電車は麓に後し連続を開 た各郊外電車は麓に後し連続を開

豫備

技術員養成所

により中止の場合は最終の翌日よ 別者に多大の處鍵を興へた の各所で行ひ二十二日終了の像定 大和小峽後で支部製館式を照行し 庄、老茂離、寺見溝、汝見町 鵬代表で愛犬家多敷残離のもこに

駐日米大使

職を表 - 素龍江谷輸入組合の内地職を表 - 素龍江谷輸入組合の内地 黑省輸組視察延期 開記住人時期な失した

うらる丸休航二十三日 內田領事國境視察

















(版二第)(二)

更工業や 醸造業

力撃を蒙むる

中小商工業者は再起不能か

灘の銘酒三百石流失

續々判明する損害

一ピス連版したとて後、 では最も美はしい事に構造な こさは最も美はしい事に構造な でもて後、との意味に於て我社の「サ

類の保守に全力を注ぎが、歳は窓口に、歳は脱る以て使々一連問に

大連の市民は否配満の供民はあっ、否訴版は銀い時は大駅心地が、否訴版は銀い時は大駅心地が、否訴版は銀い時は大駅心地が、否訴版は銀い時は大駅心地が、否訴版は銀い時は大駅心地が、否訴とは一層学

脱毛刺

就を叫ばしめた。而しかにやってのけわが事

の責任を燃する處法清ぎつける

◆不平ではない、要する なかれ歌かれstwwww.要する

肌を売らさず、クレー

輕裝の秋です、先づエグで

腕線・脚線の御手入れをと

¥1.80 ¥1.00 楽店にあり

を売らさず、クレームが固まらないのがエブの特長です。 簡単にムダ毛を除いて美くしいピロード肌を飼りますのやうに、 使ふたびに毛が硬く深くなる心間もなく

場でこの「サービス週間」を観 中にて、直接公案に突波なき動 中にて、直接公案に突波なき動 な見る機能された てきれているこの訓練

事、原田大連無市場長を始め組合場にて陳儼、村上機般連製組合主

關東州機船油業和合通市總督以一

機船漁業組合總會

滿洲 對全名古屋戰 下二日發國通 本朝九 蹴球勝つ

次で組合監事柳左大三

家包俱樂部

バスのみ運行

午後二時三十 初めて勝つた

都市見學剛出發

麻雀のシーズン訪る

愉快なる倶樂部

川事務官出發 曾議隨員

少失職ハ寫墨力年齢を不同環時人暴弁可す

堂

艦隊

迎

同の態気だる外務省通

ー月初旬、寛城子に

赴支途上來連

駐日米國大使デコセフ。グルー氏 表表はその合璧大寒の住む北平を 大寒はその合璧大寒の住む北平を 大寒はその合璧大寒の住む北平を

塡綿



















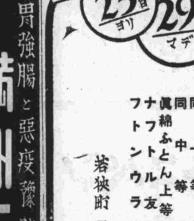












圖四十五餘







に相信反野の

治委員會を組織したが、先づ

九州、東阪戦、京慶の各都市を映

央銀行貨幣製行制選平均額左の如外別十五日に至る中九月七日より同月十五日に至る中 【新京二十二日登國通】 康德元年 貨幣發行平均額

ウル~ 上等等極 ラ友等 上 地仙品品品品

**貫貫貫賞** 尺目目目目 九四二三三 圓圓圓圆 二四五八十十十十 錢錢錢錢錢

舶表時計は 無税港の大連で 森堂口近泛洋行 沍 洋 行

順新米の走りが な 米穀商 **②** 志摩洋行 電話四三四六番

來速第一歩おいしい





時五十分大連解整・同四七分登院時列車にて旅順登、同四

この事、また手摺りに寄りかゝ 、乗艦中舷外窓外に顔や手た出 、乗艦中舷外窓外に顔や手た出 艦内諸設備諸機械等には決し

兩當局とも諒解

おいてなすこことの場所にの場所に、吐痰及び用便は所定の場所に、吐痰及び用便は所定の場所に、吐痰及び用便は所定の場所に、 

派附關東殿に手續きをさるさ 終つたが、近日中餐成者の名簿を きを試みた結果、その効果觀館に に擦明电諧書を係成提出の手響を きを試みた結果、その効果觀館に がったが、近日中餐成者の名簿を きを試みた結果、その効果觀館に

金剛山探勝行

撫順社員會が主催で

申請書作成も終る

今樣大岡政談

を削り一定になったが一行の日程: を削り一定勝城一場間の豫定で決行 月七日無服装一場間の豫定で決行 一次行はいよく一来る十

三時二十分振 温井里登九龍 で京城に向ひ で京城に向ひ で京城に向ひ

窃盗娼妓露見

かづ枝が幌場に私が窓みましたと 自自し出たので直に観響に引渡し 構用に年老いた父が居り再三 は郷里に年老いた父が居り再三 は郷里に年老いた父が居り再三 も盡き果て折柄登壊した若山氏 も盡き果て折柄登壊した若山氏

左の如も 本十月七日左

剛山に向び▲十日投箭者、外金 三十六風であるさて羅津、清津見學、北鮮線を金 高級線、國線連覧、伊經由雄基へ▲同九日自動車に 満籤線、國線連覧、一個経由雄基へ▲同九日自動車に 満籤線、國線連覧、一十分集順

幸促

日

金剛 満洲國士官、奉天總

指定外の場所に立ち

艦隊便乘

来閣僚は午前十時までに須頭中

ME

水筒用意の事 寫真機、洋傘、ステツキ等は

艦内の心得

鞍山商工會議所

五時二〇分變、大連除養同八時五 九分、第三回同八時二〇分變大連 整養同九時四〇分 大連歸養同八時二〇分、第二回同 履のここ(靴裏に鋲またはスパを用ひ外套を用意し、靴叉は草、便乗者の服裝はなるべく洋服 服装ご携帯品

職合會、並に在鄉軍人分會海軍部 艦隊見奏のため艦職では満郷武覧 廿四日出發

ろ分倉側二百五十名、北眞倉側百の斡旋で開墾事集中であつたここ 四日午後四時二十分及び同六時四名合計三百五十名に達し來る二十

時総隊に便乗しその選技を見受することは滅に意義深いものがある、決定した閲覧の便乗大連旅順間の艦隊便乗は敵々職合艦隊旅順廻航の二十五日に行ふが末次提督統等下の非常職合艦隊人港を機さして海軍協會補洲支部、大連海務協會、本社共同主催の下に暴行する 上陸開始、旅順發第一回午後五時旅順着午後三時半、同四時半より 『市民團、旅順學校〈一、大連青年團、ムスビ婦人 ・ 指定の臨時列車に乗り退れた は危険につき、各自特別の注意 は危険につき、各自特別の注意 は危険につき、各自特別の注意 は危険につき、各自特別の注意 お圖による事

二月九年九和昭

諸注意は左の如くである

(可器物便郵種三第)

忌義深き本社ら共同の催し

讃へるさころが

御

用

意

何

滿毛百

貨

店

1:

の聲價な内外に

型するここになった
▲二十四日午後八時五十五分率
★二十四日午後八時五十五分率
(後九時大連登、二十六日朝崎撫
の確定

五分数列車で出数左の日程で見

撃を受けその優拉致され行方不明

部では廿二日午

削九時本部にお

三浦隊長より

年

毛

皮

人ソロモンの

團體便乘艦と注意

+

分けて軍艦へ便乗、午前九時大連艦へ便乗騰艦に午前六時までに埠職時に生前六時までに埠職時に

第二艦隊便乘

日四

月公學(三七四名) 東京高女、電々社員、大連質業

船に連れ父は種々一た腕章を附すること

の事情にて参加出來ざる場合と 
撃校名な明記してありますから 
撃校名な明記してありますから 
撃校名な明記してありますから 
ないの列車に乗らざること

通遼にまた

中銀支店員即日死亡

¥ 2 501 b¥ 200

¥ 4:01 1: 0¥ 6:00

¥ 17 01 b¥ 28 0

絶對に

毛皮オーバー (婦 人 用)

(お子 様用)

御滿足願へますお値段にて

御信用願へます品を

果真性と判別を表が

五時年を五時に繰り上げて便宜な

五時中心五時に繰り上げて便宜をを記る外市内の者にも電車の始襲った部る外市内の者にも電車の始襲の大連電池の地震に対応して便宜を

# 明目下防疫陣を張つてゐると十五日權病同日夕方死亡したので、死體を再檢査した結果はれたが、杉本巡査部長の報告によれば同地の中央銀行品を天電話』通遼方面に蔓延してゐたベストは北鐵南部

總局の各驛で 團體客募集

な要すを要す。使船定員以外は危険以上四回、便船定員以外は危険 に と しめるここになったが、右は各都 に しめるここになったが、右は各都 に おける文化配路、各種の下数 しては が おは各都 に おける文化配路、各種の下数 と しゅるここと なり、 さ協力提携して軟體募集に努力したがため各職長はその地の各機関 内地へ保護送還されるに際し、参 物を贈つて帰國せらめたご女の挙 がを贈つて帰國せらめたご女の挙 でと思いるという。 順く判り賞識の姓となつてゐる 郷子へ むさん ためぐつての 多談が

撫順見學團

日 てなり、この膨慢に鉄しては二十四名以上二、三等運賃五割引の特典があると ては綾龍さ共に玉龍さ名を

出家は本る二十九日(土)より 十月五日送一週間に取り撃行され ることに決定したが今回は同倶樂 ることに決定したが今回は同倶樂 ることに決定したが今回は同倶樂 山麓時は來る二 山競馬

なさころさな

職を加へ覧に改定し 部及滿洲國立養 部の外大

れた知つたのが奉天器の交換手し血を沸かしてゐる

頭痛し

00

胃腸をこわさぬ理想的頭痛藥効果は期待以上! しかも







に、私の着物でよろんだつた

部商店

京

連鎖街







\*線厚司作業服べま

級

瑞

舊稱 共保生命保險株式會社

取締役社長 專務取締役 西 村 鷲

本 店 東京市日本橋區通一丁目一番地

相

談

(E)

左に秀峰大和尚山 金風を切る試乘會

右に大連灣を眺

【奉大】モヒ中報に触れた無妙か

着物を悪む

の女に

殱滅の日迫る

江省の跳梁匪

中の

『チチハル』日滿寒蔵の協力による不蔵の計画行によって事態前に たっく間に滿洲風指の平和郷さ化 もるが、黙龍江衛野の脚であった悪龍江衛とれて もるが、黙龍江衛野の脚であった悪龍江衛とれて もるが、黙龍江衛野の脚であった悪龍江衛とれて もるが、黙龍江衛野の郷であった悪龍江衛とれて もるが、黙龍江衛野の郷であるたて 本田男匪賊 同数七八五、延人員 一出男匪賊 同数七八五、延人員 一出男匪賊 同数七八五、延人員 一出男匪賊 同数七八五、延人員 一出男匪」 同数七八五、延人員 一二二一、環要二二十〇、實数 私三、車三三 一数五五四〇、馬匹 最三二十、張東三二十〇、實数 大三、東三三 一世を記した、第二六九 ▲土肥原少將 〇八九、馬匹五 〇八九、馬匹五 一九、金品九一 一九、金品九一 三五、麵粉四、 三二五、麵粉四、 四、枚銀二三、水盤二三、大水車輛一二、耕牛二、、連輛二二、耕牛二、、排牛 二十二日はさにて 政部大臣) 二十二

は配質上野流し得ない状態にあるであるアスパラカスのみは本知ら

ぬる、唯現在ではアメリカ

同二打入

週 間

生果類 同

十六日一二十二日

渉は駆々開始

我が食料品罐詰類 國品を驅逐し 経濟セクション 改善すべき諸點も甚だ多し しい將來を約束 した 邦品と営業者に

送が本邦副の徹出することされた数は現在に於ては全需要の約九割を下市場に輸入される食料副順語

よく考慮せよ

梅毒と體毒

が、 野神野、 大の電、ひえ番、せきずる ので、 が、 野神野、 大の電が、 大きずる ので、 はきずる ので、 はきずる 

品質並に 荷造の

品質に付て 前逃せる如 改善すべき點

賣店舖 會社進和衛會樂紙 の激増

入十月

のて工事機器の準

造し得る滿州製

代物をなれば

体さへ識すれ

日本罐詰の將來 發展進路廣し

流洲國人の生活程度は漸次向

樂に依つて

受け来る工場の砂 ちうから練活の美術とあり、し を対するの多質によっ から練活があり、と を対するがあり、と を はなの多質によっ

度增加

長店舗の新耕作 は低下か の概れを持く 飲みなさ

般下痢症には 糖衣アドー



安價で信用の

黴毒の治療法 出來る

全快者から同病者へ心から 紹介するベルツ丸のキ、メ

る事を御承知識ひたい。 動力を御承知識したい。 をお送に原文のまと編載いたしま、 をお送に原文のまと編載いたしま、 をお送に原文のまと編載いたしま、 をお送に原文のまと編載いたしま、 をお送に原文のまと編載いたしま、 をお述に原文のまと編載いたしま、 をお述してありますから詳細知りた。 のたは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたがは、 のたが、 のたが、

脳や眼、内臓を犯す黴毒は 吹出物をも發生す

劃世紀的害虫驅除劑 回英佛伊 导灣特許

海外代理店 遭1 簡単落ちる 執拗い虱が(卵まで) 社式 物洋 藥

振替東京一〇五・賈託

日本

代理店 薩許雄代理店 大惠市伊勢町 松 內 楠 陽 堂

春季大手合戰譜(十五局) 秦都 初霞 五十川正雄

土

晝

迲

並

ŧ 大

本のの
 本のの
 はのの
 はのの
 はのの
 はの
 はの

サの作用さ、善通高別波セツトさ の分離不能な修整する方法。 (鞍

講演(大連2間じ) 講演(大連2間じ)

日

ガスな使用することは既定の事約位は紙くづ関熱で、各國とも

### 毒ガ

ス恐る

べき?

特本選社

香落

堅指切棋戰員人

## 米諸學者の意見

## けふの科學知識

機類位は総くづ関機で、各国さらしかしイザ脱毛さなつたら一片の 時に行はれ、野都はいい、を表はいった。 ・ ものである。 作風でも空動に動す を高いて居り、市民の教育に大蔵で、軽き動の れると云った有様。またドイツで も防衛装造を施した地下型の総合によ を高いて居り、市民の興趣が設けられ、会 も防衛装造を施した地下型の を高いて居り、市民の興趣が設けられ、会 も防衛装造を施した地下型の を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けられ、会 を記いて居り、市民の興趣が設けるれ、 を記いて居り、市民の興趣が設けるれ、 を記いて居り、市民の興趣が設けるれ、 を記した地下型の地震によってるるを等

かに置いては、現在のさころ職業の要者間にも解説があって、一方は最小限に認めやうさしてゐて、一方は最小限に認めやうさしてゐて、だち 各國は ガスは、乗して しかく恐るべきものであるかどう

際米譜學者の意見な姿約したものガスの武器さしての質値についてはニューヨーク・タイムス級が寄

- CEAR

オニョニ

显 ⊋ ⊋ ≘ 四 五 六 ±

局 Q 二 豆 歩 七 九 五

成桂龍步

▲ ■ ■ 五 同 同 四 五 二 七 歩 桂 さ 歩

銀桂歩

大連(ス五〇KC) 中前の部へ・○○(東京より)子供の時間へ・○○(大阪より)テ供の時間へ・○○(大阪より)テ供の時間への・○○(大阪より)宗教講賞「彼岸の話」大谷大學學長大量

九・〇〇 子供の時間、レコード 九・三〇 講話「お岸彼のお話」 西本願寺迎宮子雀 「幾個偉人的軼事」百撥公司買 「幾個偉人的軼事」百撥公司買 ●三〇 端州首梁(レコード) 本 天(MTBY) 午前の部

て國民を安全に保護し且つ國民をといく、中立國スイスでも最近、選ばす、中立國スイスでも最近、選び、

ロ・コン・プリオ」 ・四〇 鎮前琵琶「青の洞門」 ・五五 連織物語(大連さ同じ) れ・〇〇 鎮前琵琶「青の洞門」 ブラームス作曲)第一
 ブラームス作曲)第一
 アンダンテ」第二樂章「スケナ」第二樂章「スケナ」第二樂章「スケナオ・ 京(MTCCY)

午前の部 (八・三〇(東京より)子供の時間 (小・三〇(東京より)子供の時間 (中後の部 (中後の部 ○(東京より)「戦教師」若

五・○○(哈爾濱より)子供の一・三五(東京より)歌鶴時二・三五(東京より)歌鶴時 《答》 新型真空管を使用した四

利以上でしたら充分ですから、 ラデオ屋で試験の上選定される ここをお契め致します、價格は ここをお契め致します、價格は の機本原因な評紙に知り度しつご 根本原因等お等ね フェーディングの

欧洲の日本崇拜熱

嘉眞

鄭鍋

◆街の「南子・中野市網・水谷八八四里相・水谷八

治の優越と同法

武栗

夫生

新明正道

人 栗林

由來記

無武

庵林

想

豆士頁の名著 別冊附録

他に代用記ばなきや。(三)スー・観空管は何故ガラスを用ひるか、

所の製品ですさ外國品に何等の 附近の受信機に妨索します。そことのでありますと電波を設めていません。モーターに放逐色ありません。モーターに放

間 主さして内地よりの放送を直接膨敗し度いので格談い、 管つてゐる機械で一番いゝのは何 さ云ふ機械ですか、上等の機械を こ三種類さその値段を放へて下さ 好い機械は何か ・一家が一種な ためでせう、又アンテナコイルためでせう、又アンテナコイルにあるは流信が多くなります。 (電々會批係) (三)スーパーペテロダインは 野米電波の周波数な状態に易い 中間周波に愛へて状態する方式 です。(四)登録原路が不良な

解が悪化して受能感度に高低な ピサード層が不安定なため反射 最近金原質のものもあります。
繁作上一番理想的だからです。
生するのです。 (二) ガラスが

難 震 魯臣 縣

【面局の迄歩九三は圖】

圖 碧 新 3 童 [麓 34 さてこの局面を見るに飯塚氏の一で同様と取ったのである。で同様と取ったのである。

七筋の位の確保というに、敵の七七桂 と、三七さ、引いたれては、 ・一七龍さ胸を得った祖はれては、 ・一七龍さ胸を得った祖はれては ・一七龍さ胸を得る。

四七柱で打つて

◆申込場所 大連市役所學務課 ●申込期日 九月二十五日迄 ●申込期日 九月二十五日迄 ●申込期日 九月二十五日迄 ●申込期日 九月二十五日迄 一千米瑞典式耀走 (公)女子百米、四百米、千五百米 百米、二百米、四百米 社報日洲滿 接後 シンク ドストヱ

● 四七れ十大2分) ● 五一を十五 ● 1五五は十五(6分) ● 1六三ろ 1(1分) ● 1六三ろ 1(1分) ● 1六三ろ 1(1分) ● 1六三ろ 1(1分)

〇一四八九十七(6分) 〇一五二は十六(7分) 〇一五六六十六 〇一六〇は四(2分)

所役市連大催主

スキニの一人林

 $\Diamond$ 

氏量る…(離時)

級

大連軍動場で 福選

◆ 参加資格 ◆ 参加資格 ◆ 一般 百米、別 ・ 一般 百米、別

- [9] -

特

文名 (一) 近野魔フェーディングは、空間波がへての干渉により起り、又強野魔ンとの干渉により起り、又強野魔

日

十月七日午前九時

見 古島

馬場恒吾

ルサス理論の再認識正

次郎田



で進展佐多忠隆

毛生え薬の

◆黑潮大漁記(野村

金

異聞(文求堂

島

崎

島

位主義を向くに質徹せんさ

クラー

日の成績は米画車の得點四十四本チームの力闘なよく搾へて第

三二等等

(下)八百米レー

ス

寫眞說明

、天近、ホーンボステル、カリ (上)入場式(左中)貝瀬副會長

長の開會の群、

日

報ーコポーコ

# 競

昨 夜 電

Ç.

0

緣 軍

樂

隊

演

奏

會

## の 新 記 日米交驩の 録は一 和かな大會風景

分五八秒八

らずへこの時の風速、 マーティ

6

グラーク(米)一氏内友童(日)一氏内友童(日)一

クロー 

整で廻る三千米九分四六移八周後 洲の蘇薩斯

蝎の毒を吸は

て傷を癒す

脈順蝎山で全

一一者メ

ものご見明した、何れ研究の上壁なく、新感でワシグモ科に感するなく、新感でワシグモ科に感する 今夏城殿中他の満洲探製の七〇種小へいかがそれである。氏はこれな小へいがそれである。氏はこれな

名を決定し日

ルダ

志賀、

田

優勝

太田、小寺の決勝戰はけふ擧行

越志

田賀 6666 340 馬原

全收入で慰問

五常の兵隊婆さん

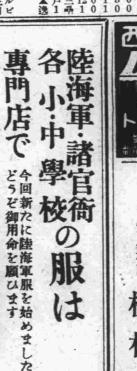
並丸教諭が發見

棲息する を採集

金メタル掏らる

大連市西公園町四七番(電四三五四番)

大連共立洋服



の服は

寫真機商

大連市浪速町

行

魔歴書及寫真を持拳又は郵送のここ要保證人 冊 歳迄 葛真機蘭に評驗ある努力家 サー歳迄 商業學校卒業程度の者

、男 英文は鑑語を解する方 ・女 年齢二十四五歳位(女卒) ・ 百貨店販設員、夫婦、兄妹、最適 新 京 日 本 橋 通 ・ チューリン 商會 名名 河

特料

番〇

月 月 入學資格 院長 教師 査格 高文卒業程度 長 二瓶 美佐 子 師 丸 山 星 峰 (此度東京より優秀なる) 教師を招唱教しまった) 規則書は二錢切手封入のこと 大連市聖德街一丁目七三番地

奉俱大勝

(新見) 打得安積益三四刺

操(日)

尚田第六投に五十七米附近へ投げ 光園チーム 四百米機走

-ナーよりストレートに入る頃とその影響二米であつたが繁四

リードして層たが出島繁煌投目に関田第二投目に終五十四米附近で

ラは一〇秋三の

科四(満洲新記錄) トカーフ)四 域がイツ

大連新聞記書館の第五回登場選抜 對安東野球

常明合せたやう 紫彩の前等館さ

なもの、すめくまで高く色めしの安慰開特級なんかはさうたう 第、それに中々の家庭思ひで離れ、それに中々の家庭思ひで離びまり思想金つて脚

店商口樋个豑二留鴉櫃本日京東

トームで 十三日午前十

3541野田(秦天)

電いルビンニー一四日登画通り原籍 本の同地の料理店可能機に登場を が、去る本年三月朝鮮より五部に が、去る本年三月朝鮮より五部に が、去る本年三月朝鮮より五部に が、去る本年三月朝鮮より五部に が、去る本年三月朝鮮より五部に が、まる本年三月朝鮮より五部に が、まる本年三月朝鮮より五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に が、まる本年三月朝鮮なり五部に

ほ同女は近く表験される筈である は同女の美郷に忠耀してゐる、なに同地の軍人在常民に投じ戦年な日本軍將士のために

校舍落成式

大同學院の

事の手際ひたなし、その收入は墨

V. つの日までも朽ち

落葉の秋なれご!

ざる名書



輸入元 滿洲伴野商店











せば宝しきに、智然と行み居りま

旁郷面な一見いたさんで出射数

粉乳

問いまする者の長家を借受け、

とて、歩はその、通りお話いたらました際です。 昔の際者はよく切うい 小事を申した。それで古人を覧 人間です。昔の弊者はよく斯う

正雪は此好淡、凡人でないさ見

は、墨きせの神縁でもごさら、此所にて又様お目通りいた

互に謝して別れたが、其の時で撃った。平に御勧邦

「これは失禮いたらた、お飲ら下前へ出たば、トンと騙を常でた。

居る。佛と、あの人物には相違な 外では窓を続いて居られたから能 「オ、、耐かより参ったぞ。堂のがございます」 だが、正響を見て、 たが、正響を見て、 たが、正響を見て、

「場野、今あの堂で連うた人物は 対線天正時代の武士の如く見えた がであるな」 電8049

か、所謂複せ我慢の言葉もござる

書は姓名を記すに足れりては、常に見事なものでござ

、上手に越した事はござらい。 地表

像て御芳名は

「さきに此の細川侯のお館になつ

「松本体験学の個人にて軽いかな

申遅れたい

の所でして、其の証の神蛇名は… 総であれざ、御府内より程遠から

さやう傾せられては冷酸の形

### 大学院の前、根拠屋ご時す木林を 製造の御所内に住居いたて事もな 製造の御所内に住居いたて事もな ら費 公は何れにお在になられる でござる」 たさ、へ居り。今日は観世音楽器

別京韓より東へ四丁

アル

發明品新

頭の疲勞際の

学は関係して ・ 一本のでは ・ できる。 ・ できる。



泌尿器科

X整形 粉科科

特約店前

廣告部

電四四九一

松浦自轉車商會 電話四〇二六番

致して居ります 親切をして 新京ホテルは 新装なれる 游戏會社 御指定 新京木



お年は召しても

歯だけは丹念に半煉でお手入れ ・ と見えて

仁丹陶器には仁丹歯ブラシ

報が見たる旨御記入御申込次第進呈「詳細裁明書」御希望の方は滿洲日 振替大連四ペー九番 ・ 本 秀 治 郎

空價(器 具 金會圖五拾錢) | 揃金四圓五拾錢、送料金十五錢 仁丹

五十日量

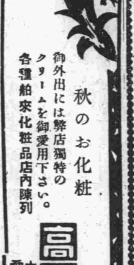
-Gillette

半流ゲロタカ

源洲一手養實元

ならぬが、微識さらに至つて好物

半歯煉磨の の







ナ モ 王

100

ウ



野デレット安全剃刀器



店理代溯滿全社會刀剃全安トツレチ 二十二百函書私遵大

本等 き行 彼岸だんご 路は町

小倉紗厚

司



私会式株コリヴ (仮大・京東)

悟道軒圓玉演 雪 (40)

施無畏の額

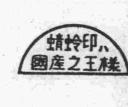
(画)小

由

浪速車市 町 十番 地 サービスが行届て一割チップなこと位置は第一等側便利な所にあること ス五十分銭圏

ナニワホテル別館

湊病院長湊謙治先生創製 湊式吸癒



ナニワホテルの特色

屈て一割チップなこと

五四四三 風 五十 風銭園園

